

令和7年度

管路更新(耐震化)事業

八本松東三丁目地区ほか配水管耐震継手補強工事  
仕様書

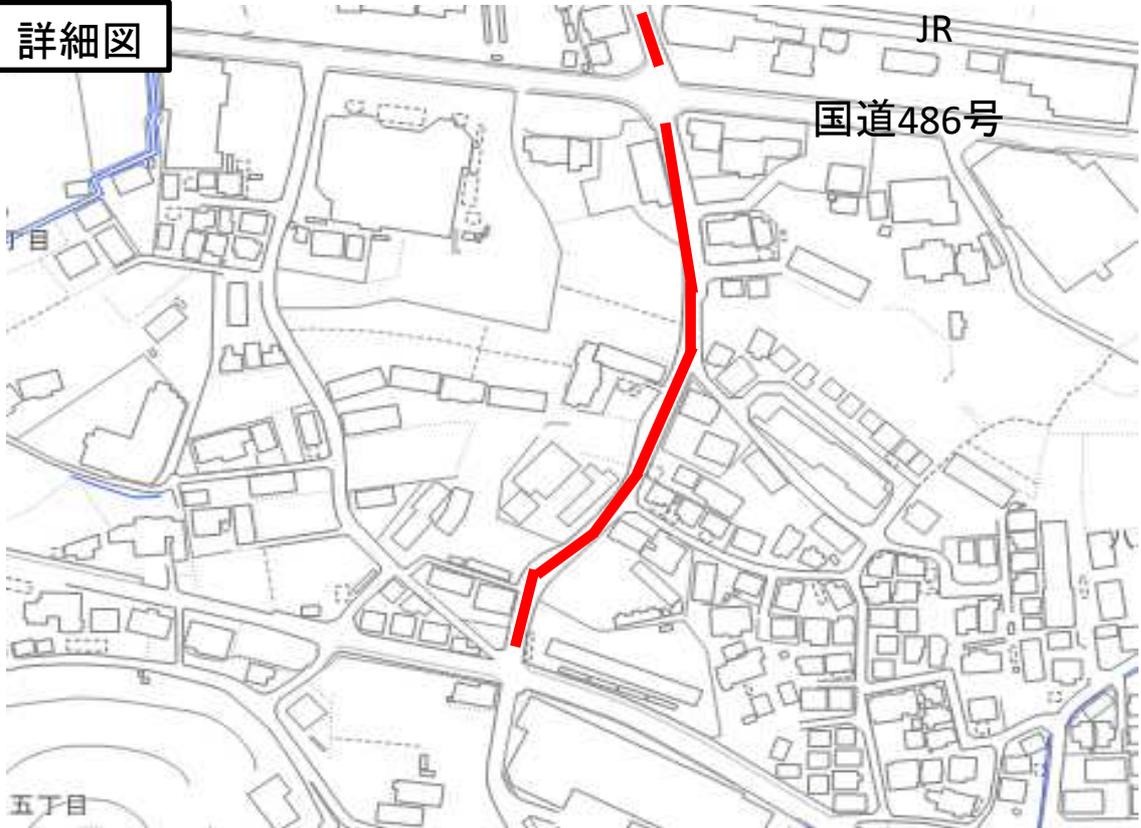
工事場所 東広島市八本松東三丁目、六丁目

八本松東三丁目地区ほか配水管耐震継手補強工事

全体図



詳細図



# 特記仕様書

(八本松東三丁目地区ほか配水管耐震継手補強工事)

## 第1章 総則

1. 適用
2. 前払金
3. 現場代理人の兼務
4. 現場作業終期日
5. 履行報告
6. 官公庁等への手続き等
7. 工事中情報共有システム（受注者希望型）
8. 熱中症対策に資する現場管理費の補正
9. 主任（監理）技術者及び現場代理人の配置について
10. 法定外の労災保険の付保
11. 週休2日適用工事等
12. 建設副産物の取り扱いについて
13. 配管従事者の条件等

## 第2章 工事材料

1. 使用材料

## 第3章 施工条件

1. 安全対策
  - (1) 交通誘導警備員・警戒船・保安要員
  - (2) 架空線の防護管に要する費用について
2. 仮設備
  - (1) 土留工
3. 盛土・埋戻土
  - (1) 流用土(工事内流用)
  - (2) 購入土(搬入)(新材料)
4. 建設副産物
  - (1) 建設発生土(搬出)（建設発生土リサイクルプラント、建設発生土受入地又は建設発生土受入地
  - (2) コンクリート殻（無筋）(搬出)
  - (3) アスファルト殻(搬出)
  - (4) 建設汚泥(搬出)
5. その他
  - (1) 支給・貸与品
  - (2) 工事中の安全確保
  - (3) 耐震補強金具の施工について
  - (4) 水道技術管理補助者検査について

## 第4章 施工管理

1. 出来形管理
  - (1) 出来形管理報告
2. 品質管理
  - (1) 品質管理報告

## 第5章 その他

1. 工事関係書類
2. 工事写真
3. 疑義の解決等
4. 提出書類

# 特記仕様書

## 第1章 総則

### 1. 適用

本工事の施工にあたっては、「土木工事共通仕様書（令和7年8月）広島版（適用区分「広島及び「広島県」）」に基づいて実施しなければならない。

この場合においては、次のとおりとする。

- (1) 水道編については広島県水道広域連合企業団東広島事務所の定める「請負工事における施工管理基準」及び「広島県水道広域連合企業団東広島事務所出来形・品質管理基準及び規格値」に基づき施工管理するものとする。
- (2) 「広島県」とあるのは「広島県水道広域連合企業団東広島事務所」と読み替える。（ただし、第1編第1章第1節1-1-1-26第10項、第1編第1章第2節1-1-2-1第3項、1-1-2-8第1項、1-1-2-9第1項、1-1-2-10第1項、1-1-2-11第1項、第6項、第8項、1-1-2-14第2項、1-1-2-16第1項、第3項、第2編第1章第3節2-1-3-1、第3編第1章第2節3-1-2-3第2項においては読み替えない。）
- (3) 「建設工事請負契約約款」とあるのは「東広島市の建設工事請負契約約款」と読み替える。
- (4) 「土木工事監督規程」とあるのは「東広島市建設工事監督事務取扱要綱」と読み替える。
- (5) 「土木工事検査規程」とあるのは「東広島市建設工事検査規程」と読み替える。
- (6) 「建設工事執行規則第19条の1」とあるのは「東広島市建設工事執行規則第19条第1項」と、「建設工事執行規則第41条の2」とあるのは「東広島市建設工事執行規則第41条第2項」と読み替える。
- (7) 「広島県契約規則第2条の1」とあるのは「東広島市契約規則第2条第1項」と読み替える。
- (8) 「土木工事検査技術基準」とあるのは「東広島市の「土木工事検査技術基準」と読み替える。
- (9) 「低入札価格調査制度事務取扱要綱」とあるのは「東広島市低入札価格調査制度事務取扱要領」と読み替える。
- (10) 「広島県の建設工事入札参加資格」とあるのは「東広島市の競争入札参加資格」と読み替える。
- (11) 広島県の「建設業者等指名除外要綱」とあるのは東広島市の「建設業者等指名除外基準要綱」と「建設業者等指名除外要綱別表第18号」とあるのは東広島市の「建設業者等指名除外基準要綱別表第22号」と読み替える。
- (12) 「建設工事における低入札価格調査制度事務取扱要綱」とあるのは「東広島市低入札価格調査制度事務取扱要領」と、「建設工事における低入札価格調査制度事務取扱要綱第10条」とあるのは「東広島市低入札価格調査制度事務取扱要領第11条」と読み替える。
- (13) 「県発注工事等における暴力団排除のための契約制限要綱」とあるのは「東広島市建設工事暴力団等排除要綱」と読み替える。

### (14) その他

編	章	節	条	見出し	項	特記及び追加仕様事項
1	1	2	5	工事の下請負	3から6まで	適用しない。
1	1	2	14	施工管理	1	適用しない。
1	1	2	16	環境対策	4	適用しない。
1	1	3	3	現場代理人及び主任技術者 又は監理技術者	5から6まで	適用しない。
1	1	3	4	下請負及び契約の制限	1(2)	適用しない。
1	1	3	5	主要資材の購入		適用しない。
1	1	3	7	契約後VE工事		適用しない。
1	1	3	9	県産材の活用	(2)	適用しない。
1	1	3	10	工事現場の現場環境改善等		適用しない。
1	1	3	11	現場環境改善（ウィークリースタンス）の実施	(4) [2]から [7]まで	適用しない。
3	1	1	1	請負代金内訳書		適用しない。
3	1	1	2	工程表		適用しない。
3	1	1	7	工事完成図書の納品	2から6まで	適用しない。
3	1	1	8	技術検査	3から5まで	適用しない。
3	1	2	1	請負代金内訳書		適用しない。

3	1	2	2	工程表		適用しない。
3	1	2	5	工事完成図書の納品		適用しない。
3	1	2	5	提出書類	2	適用しない。
3	1	3	6	工事完成図書の納品		適用しない。
3	1	3	2	技術検査	2	適用しない。

## 2. 前払金

契約金額が50万円以上の建設工事の場合は前払金を請求することができる。前払金は請負代金の40%以内とする。また、契約に当たって契約約款特約事項第22項により中間前払金を選択するものにあつては、中間前払金は請負代金の20%以内とする。その他、前金払・中間前金払の適用は次の要領による。

- ・建設工事請負代金前金払実施要領
- ・建設工事請負代金中間前金払実施要領
- ・東広島市余裕期間制度適用工事に係る事務取扱要領

とする。なお、余裕期間制度適用工事においては「契約会計年度」を「工期の始期の属する年

## 3. 現場代理人の兼務

- 1 現場代理人の兼務については、「技術者等の適正配置について」によるものとする。
- 2 発注者は、受注者からの申請に基づき、兼務する各工事の内容、工程等を勘案し、現場代理人の兼務について承認の適否を決定し、承認する場合は現場代理人兼務承認書により、承認しない場合は現場代理人兼務非承認書に承認しない理由を記載の上、速やかに受注者に通知する。
- 3 発注者は現場代理人の兼務について、次に掲げる事由に該当すると認めるときは、現場代理人兼務承認取消書により、その承認を取消すものとする。
  - (1) 兼務を予定する工事の発注者が兼務を承認しないことが明らかになったとき
  - (2) 兼務を承認した日から起算して14日（東広島市の休日を定める条例（平成元年東広島市条例第6号）第1条第1項に規定する市の休日を除く。）を経過した後においても、兼務先の発注者が兼務を承認したことを証する書面の写しが提出されないとき
  - (3) 兼務申請において、重要な事項について虚偽の申告をし、又は重要な事実の申告を行わなかったことが判明したとき
  - (4) 兼務の承認後、重要な事項や重大な状況の変化について報告を行わない等、必要な報告を怠ったことが判明したとき
  - (5) 著しい状況の変化により、兼務を承認することが適当でなくなったとき
  - (6) その他、発注者が兼務を承認することが適当でなくなったとき
- 4 重要な事項について虚偽の申告を行う等、不適切な申請を行った者、又は、兼務の承認後に重要な事項や重大な状況の変化について報告を行わない等、必要な報告を怠った者に対しては、請負契約に基づく是正措置の請求や指名除外等の必要な措置を行うことがある。

※ 同一町内における町とは西条町、八本松町、志和町又は高屋町にあつては昭和49年4月20日前の町の区域とし、黒瀬町、福富町、豊栄町、河内町又は安芸津町にあつては平成17年2月7日前の町の区域とする。

## 4. 現場作業終期日

本工事の施工に当たっては、工期末の30日前までに、下記の作業を終了しなければならない。

なお、現場作業終期日までに適時、速やかに「土木工事共通仕様書（令和7年8月）広島版」第1編1-1-1-23第2項第3号に記載してある出来高が確認できる資料を監督職員に提出しなければならない。

## 5. 履行報告

履行報告の提出にあたっては、実施工程表と平面図（施工済み箇所を着色）又は、進捗状況が確認できる写真を添付すること。なお、月締め報告とし、翌月7日までに提出すること。

## 6. 官公庁等への手続き等

受注者は、関係官公庁及びその他の関係機関との諸手続きにおいて許可、承諾等を得た場合はその書面（写し）を提出するものとし、更新手続き（許可内容が同じもの）の場合は、届出等の鑑のみとする。

7. 工事中情報共有システム（受注者希望型）

- (1) 本工事は、工事中情報共有システムの対象（受注者希望型）である。
- (2) 工事中情報共有システムを利用するにあたり、発注者に連絡の上、利用申込すること。
- (3) 本工事で使用する情報共有システムは次のとおり。  
広島県工事中情報共有システム（一般社団法人 広島県土木協会）  
<http://www.hdobokuk.or.jp/koujijyouhoushisutemu2.html>
- (4) 工事中情報共有システム利用に必要な費用は設計金額に含まれている。
- (5) 利用にあたっては「東広島市発注工事における広島県工事中情報共有システム利用実施要領」に基づくこと。
- (6) 運用にあたっては「広島県工事中情報共有システム運用ガイドライン」に基づくこと。  
この場合においては、次のとおりとする。

- 1) 「1.3.適用する基準」のうち、「土木工事監督規定（広島県）」および「土木工事監督実施要領（広島県）」は「東広島市建設工事監督事務取扱要綱」と、「土木工事検査規定（広島県）」とあるのは「東広島市建設工事検査規定」と、「土木工事検査技術基準（広島県）」とあるのは「土木工事検査技術基準（東広島市）」と読み替えるものとする。
- 2) 「CAD製図基準（国土交通省）」および「CAD製図基準に関する運用ガイドライン（国土交通省）」は適用しない。
- 3) 「4.検査」は適用しない。
- 4) 検査は、発注者と協議のうえ、紙媒体による検査と電子検査の併用とすることができるものとする。
- 5) 受注者は、工事中情報共有システムにより処理した工事完成図について、電子成果品として納品するほか、紙の成果品も納品すること。

8. 熱中症対策に資する現場管理費の補正

- (1) 本工事は、工事現場の熱中症対策に資する経費に関して、現場管理費の補正を行う工事である。
- (2) 工期(工事の始期日から工事の終期日までの期間で、準備期間、施工に必要な実日数、不稼働日、後片付け期間の合計をいう。なお、検査期間13日、年末年始6日間（12月29日～1月3日）、夏季休暇3日間（国民の祝日である山の日次の日から土曜日、日曜日、振替休日を除く3日間とする。）、工場制作のみを実施している期間、工事全体を一時中止している期間は含まない。) 期間中の真夏日の状況に応じて、変更契約時に現場管理費の補正を行うものとする。
- (3) 真夏日とは、日最高気温が30度以上の日をいう。また、日最高暑さ指数（WBGT）が25度以上の日をいう。  
ただし、夜間工事のみの場合は、作業時間帯の最高気温または最高暑さ指数（WBGT）を対象とする。
- (4) 気温の計測箇所及び結果は、施工現場から最寄りの気象庁の地上気象観測所の気温または環境省が公表している観測地点の暑さ指数（WBGT）を用いることを標準とする。
- (5) 受注者は、工事期間中における気温の計測箇所、用いる計測値及び計測期間（計測開始日、計測終了予定日）を明記した施工計画書を工事着手前に提出し、計測結果を工事完成時までに監督職員に提出すること。
- (6) 受注者は、計測終了日について、工事完成時までに監督職員と協議するものとする。
- (7) 積算方法は次のとおりとする。

1) 補正方法

ア 受注者より提出された計測結果の資料を基に、補正値を算出し現場管理費率に加算する。  
なお、現場管理費率の補正は「積雪寒冷地域で施工時期が冬期となる場合の補正」、「緊急工事の場合」及び本補正値を合計し、2%を上限とする。

イ 真夏日率＝工期期間中の真夏日÷工期

ウ 補正値（%）＝真夏日率×1.2

2) 補正値の計算結果は、パーセント表示で小数点3位を四捨五入して2位止めとする。

- (8) 受注者より、熱中症対策に資する現場管理費の補正が不要である旨の協議があった場合は、補正を行う工事から対象外とすることができる。

(9) 検査職員から修補の指示があった場合、修補期間は対象外とする。

9. 主任(監理)技術者及び現場代理人の配置について

広島県水道広域連合企業団東広島事務所発注工事における主任(監理)技術者及び現場代理人の配置についての取り扱いは、「技術者等の適正配置について」によるものとする。

10. 法定外の労災保険の付保

- 1 本工事において、受注者は法定外の労災保険に付さなければならない。
- 2 受注者は、建設工事請負契約約款第47条に基づき、法定外の労災保険の契約締結をしたときは、その証券又はこれに代わるものを速やかに監督職員に提示しなければならない。
- 3 法定外の労災保険は、政府の労働者災害補償保険とは別に上乗せ給付等を行うことを目的とするものであり、(公財)建設業福祉共済団、(一社)全国建設業労災互助会、全日本火災共済協同組合連合会、(一社)全国労働保険事務組合連合会又は保険会社との間で、契約を締結しているものとする。

11. 週休2日適用工事等

本工事は、週休2日適用工事(発注者指定型)であり、「東広島市週休2日適用工事等実施要領(最新版)」に従うこと。

なお、実施要領に基づき提出する必要がある様式「休日取得計画表」は「検査課HP>施工関連資料>週休2日適用工事等の実施について」に掲載している。

12. 建設副産物の取り扱いについて

本工事における建設副産物の取扱いについては、土木工事共通仕様書1-1-2-11 建設副産物のとおり取り扱うこととする。なお、「再生資源利用計画」、「再生資源利用促進計画」及び「実施書の提出」については、次のとおりとする。

1 再生資源利用計画及び再生資源利用促進計画

受注者は、コンクリート、コンクリート及び鉄から成る建設資材、木材、アスファルト混合物等を工事現場に搬入する場合には、法令に基づき、再生資源利用計画を作成し、施工計画書に含め監督職員に提出しなければならない。また、受注者は、建設発生土、コンクリート塊、アスファルト・コンクリート塊、建設発生木材、建設汚泥又は建設混合廃棄物等を工事現場から搬出する場合には、法令に基づき、再生資源利用促進計画(5の確認結果票を含む)を作成し、施工計画書に含め監督職員に提出しなければならない。なお、その内容に変更が生じたときは、速やかに利用計画及び促進計画を変更し、監督職員に報告しなければならない。

2 計画の掲示及び公表

受注者は、1の再生資源利用計画及び再生資源利用促進計画を工事現場の見やすい場所に掲示(デジタルサイネージによる掲示も可)し、公衆の閲覧に供するとともに、インターネットの利用により公表するよう努めるものとする。

現場掲示様式については、次のURLを参考に作成すること。

[https://www.mlit.go.jp/sogoseisaku/region/recycle/d03project/d0306/page\\_03060101credas1top.htm](https://www.mlit.go.jp/sogoseisaku/region/recycle/d03project/d0306/page_03060101credas1top.htm)

3 実施書の提出

受注者は、再生資源利用計画及び再生資源利用促進計画を作成した場合には、工事完了後速やかに実施状況を記録した再生資源利用実施書及び再生資源利用促進実施書を監督職員に提出しなければならない。なお、受注者は、再生資源利用実施書及び再生資源利用促進実施書の作成後、工事完成から5年間保存しなければならない。

4 工事現場の管理体制

受注者は、再生利用の促進を行うため、工事現場における建設副産物責任者を置くことにより、管理体制を整備するとともに、当該責任者に対し、再生資源利用計画及び再生資源利用促進計画の内容について現場担当者の教育を十分行うこと及び、関係する他の施工者及び資材納入業者もこれを周知徹底することを指導するものとする。

5 建設発生土搬出に関する関係法令の手続きの確認及び確認結果票の作成

受注者は、再生資源利用促進計画の作成にあたり、建設発生土を工事現場から搬出する場合は、あらかじめ次に掲げる事項を確認し、また各事項の確認の結果を記載した書面(確認結果票)を

作成しなければならない。

※確認結果票は「広島県の調達情報」に掲載している。

なお、対象となる工事は請負代金額が100万円以上、または建設発生土の搬出が500m<sup>3</sup>以上の工事を対象とする。

(1) 工事現場内の土地の掘削その他の土地の形質の変更が土壌汚染対策法（平成14年法律第53号）第3条第7項又は第4条第1項の規定による届出を要する場合にあっては、当該届出がされている。

(2) 再生資源利用促進計画に記載しようとする搬出先における建設発生土の搬入に係る行為に関する次に掲げる事項

(1) 当該行為が宅地造成及び特定盛土等規制法（昭和36年法律第191号。以下「盛土規制法」という）第12条第1項、第16条第1項、第30条第1項又は第35条第1項の規定による許可を要する場合にあっては、当該許可を受けている。

(2) 当該行為が盛土規制法第21条第1項、第27条第1項、第28条第1項又は第40条第1項の規定による届出を要する場合にあっては、当該届出がされている。

(3) 上記(1)、(2)に掲げる事項のほか、再生資源利用促進計画に記載しようとする搬出先が適正であることを確認するために必要な事項その他の建設発生土の搬出に関する事項

## 6 運搬業者への通知

受注者は、建設発生土の運搬を行う者に対し、再生資源利用促進計画及び確認結果票の内容を通知するものとする。またその内容に変更が生じたときには、速やかに運搬を行う者に通知するものとする。

## 7 確認結果票の掲示及び公表

受注者は、確認結果票を工事現場の見やすい場所に掲示（デジタルサイネージによる掲示も可）し、公衆の閲覧に供するとともに、インターネットの利用により公表するよう努めるものとする。

## 8 確認結果票の保管

受注者は、確認結果票を建設工事の完成後5年間保存するものとする。

## 9 建設発生土の搬出先に対する受領書の交付請求

受注者は、建設発生土を再生資源利用促進計画に記載した搬出先へ搬出したときは、速やかに当該搬出先の管理者（搬出先が工事現場である場合は、当該工事現場の受注者）に対し、次に掲げる事項を記載した受領書の交付を求めるものとする。

(1) 建設発生土の搬出先の名称（搬出先が工事現場である場合は、建設工事の名称。）及び所在地

(2) 建設発生土の搬出先の受注者の商号、名称又は氏名

(3) 建設発生土の搬出元の名称及び所在地

(4) 建設発生土の搬出量

(5) 建設発生土の搬出が完了した日

## 10 建設発生土の搬入元への受領書の交付

受注者は、建設発生土を利用計画に記載した搬入元から搬入したときは、速やかに当該搬入元の管理者（搬入元が工事現場である場合は、当該工事現場の受注者）に対し、前号に掲げる事項を記載した受領書を交付するものとする。

## 11 受領書の内容確認

受注者は、搬出先から受領書の交付を受けたときは、再生資源利用促進計画に記載した内容と一致することを確認する。

## 12 受領書の保管

受注者は、受領書又はその写しを建設工事の完成後5年間保存するものとする。

## 13 建設発生土の最終搬出先までの確認

受注者は、建設発生土が再生資源利用促進計画に記載した搬出先（次の(1)から(4)のいずれかに該当する搬出先を除く。）から他の搬出先へ搬出されたときは、速やかに、当該他の搬出先への搬出に関する9(1)～(5)に関する事項を記載した書面を作成するとともに、当該書面を当該再生資源利用促進計画に係る建設工事の完成後5年間保存するものとする。建設発生土が更に他の搬出先へ搬出されたときも、同様とする。

(1) 国又は地方公共団体が管理する場所であって、受入れ完了後に当該国又は地方公共団体が受領書を交付する場合

(2) 受注者の管理下にある他の工事現場で利用するために一時堆積する場合

- (3) スtockヤード運営事業者登録規定により国に登録されたStockヤード  
 (4) 9の受領書の土砂の利用種別が「盛土利用等」である建設発生土受入地（再搬出ししないもの）

### 13. 配管従事者の条件等

- 1 耐震補強金具取付従事者は、(公社)日本水道協会（以下「日水協」という。）の小口径管講習会（講習会Ⅰ）を2014年(平成26年)4月1日以降に修了して「配水管技能者登録証（一般継手・耐震継手）」を取得した者、又は(一社)日本ダクタイル鉄管協会（以下「JDPA」という。）のJDPA継手接合研修会（耐震管φ450以下）を受講して、「JDPA継手接合研修会受講証（耐震管φ450以下）」を取得した者とし、上記の登録証又は受講証の写しを提出すること。ただし、フランジ耐震補強金具の取付工についてはこの限りではない。

## 第2章 工事材料

### 1. 使用材料

- (1) 一般土木資材及び配管材料等の使用材料の有効年月は下表のとおりとし監督職員の承認及び材料確認を受けたものを使用すること。なお、滑剤及び切管用補修剤についても提出すること。

種別	材料名	有効年月	備考
一般土木資材	塗料その他	製造1年未満	
配管材料	補強金具	同上	
	弁・栓類	同上	
	接合材	同上	ボルト・ナット・パッキン
	管付属品	同上	ポリスリーブ・ローケーティングワイヤー・管明示テープ
	ボックス類	同上	

※ 管明示テープについては、当該年度または、当該施工年度とし、統一して使用すること。

なお、上記により難しい場合に、(公社)日本水道協会の検査合格後3年以内で保管状況の良好な材料であれば、監督職員の承認及び確認を受けて使用できるものとする。

- (2) 消火栓は、FCD・内外面粉体塗装・軽トルク・グランドレス・口金ステンレス製とし、キーキャップの高さは道路天より11~20cm下がりとなるようにフランジ短管等により調整すること。
- (3) 補修弁は、FCD・内外面粉体塗装・RF-GF形・ボール式・右開・面間寸法を100mm又は150mmとする。
- (4) 仕切弁・消火栓・空気弁・空気弁付消火栓のボックスについては、広島県水道広域連合企業団東広島事務所認定の「東広島市型」とし、型式は広島県水道広域連合企業団東広島事務所に問い合わせること。  
 調整リングの材質については、レジンコンクリート製（日水協検査品）を標準としているが、樹脂製又は鋳鉄製によるものの使用についても承諾する。
- (5) 消火栓及び空気弁付消火栓のボックスまわりには、区画線（W=15cm・黄色ライン）を施工すること。なお、消火栓鉄蓋枠と区画線との離隔は、3cmする。
- (6) フランジ継手工は、緩み防止のため、ボルト、ナットにワッシャ（平座金）を取り付けること。  
 なお、フランジ継手材の材質については、以下のとおりとするが、原則RF-GF形とする。  
 ・フランジ用パッキン(RF-RF)は、凸部付きパッキン(日水協検査品)とする。  
 ・フランジ用パッキン(RF-GF)は、GF形ガスケット1号(JIS G 5527)とする。  
 ・フランジ用ボルト、ナット及びワッシャは、SUS製とする。なお、ボルト又はナットのねじ部に焼き付き防止処理を施したものを使用しなければならない。
- (7) ポリエチレンスリーブについては、本工事では日本水道協会認定品で設計しており、実際の使用材料がこれによらない場合は事前に監督職員と協議を行うこと。

## 第3章 施工条件

### 1. 安全対策

- (1) 交通誘導警備員・警戒船・保安要員

交通誘導警備員 ・交通誘導警備員の配置人数は、工事着手後、規制を要する日から213人見込んでいる。ただし、現場条件の変更等により、交通誘導警備員の人数変更が必要となった場合には、事前に監督職員と協議を行った上で変更対象とする。

- (2) 架空線の防護管に要する費用について

工事区域上空の架空線の防護管に要する費用については、現在見込んでいない。

架空線に近接した工事の施工に当たって、架空線管理者又は防護管施工会社（以下、「架空線管理者等」という）との協議により、架空線管理者等から防護管に要する費用負担を求められた場合、工事打合せ簿により監督職員と協議し、設計変更の対象とする。

設計変更の対象として認められる場合は、架空線管理者等からの見積書を提出すること。

## 2. 仮設備

### (1) 土留工

本工事における矢板工は掘削深さが1.5mを超える場所に下記矢板建込工法を見込んでいるが、土留の種類及び施工方法については受注者の任意とし、契約変更の対象としない。

ただし、現場条件に変更が生じた場合は、監督職員と協議すること。

- ・木矢板

## 3. 盛土・埋戻土

### (1) 流用土(工事内流用)

本工事の施工により発生する土のうち、170m<sup>3</sup>(地山土量)については当該工事の施工に流用するものと見込んでいる。

### (2) 購入土(搬入)(真砂土)

本工事では、240m<sup>3</sup>(ほぐし)の真砂土購入を見込んでいる。

## 4. 建設副産物

### (1) 建設発生土(搬出) (建設発生土リサイクルプラント、建設発生土受入地又は建設発生土受入地(一時たい積))

当該工事により発生する建設発生土は、公の関与する埋立地、建設発生土処分先一覧表に掲載されている建設発生土リサイクルプラント、建設発生土受入地又は建設発生土受入地(一時たい積)のいずれかに搬出するものとする。また、搬出先として、運搬費と受入費(平日の受入費用)の合計が最も経済的になる建設発生土リサイクルプラント、建設発生土受入地又は建設発生土受入地(一時たい積)を見込んでいる。したがって、正当な理由がある場合を除き残土処分に要する費用(単価)は変更しない。

ただし、災害復旧工事において、市が公募により決定した「災害発生土民間受入先」と受入について土質や搬出スケジュール等の協議が整えば、搬出先を「災害発生土民間受入先」に変更する場合がある。

当該工事で見込んでいる再資源化施設、運搬距離

(名称)	有限会社広剛産業福富残土処分場1
(所在地)	東広島市福富町上戸野大井出1460-1
(運搬距離)	14.2 km

### (2) コンクリート殻(無筋)(搬出)

当該工事により発生するコンクリート殻(無筋)は、広島県制定の再資源化施設一覧表に掲載されている施設に搬出するものとする。

搬出先として、運搬費と受入費(平日の受入費用)の合計が最も経済的になる再資源化施設を見込んでいる。したがって、正当な理由がある場合を除き処分に要する費用(単価)は変更しない。

また、運搬距離は 6.1 km を見込んでいる。

### (3) アスファルト殻(搬出)

当該工事により発生するアスファルト殻は、広島県制定の再資源化施設一覧表に掲載されている施設に搬出するものとする。

搬出先として、運搬費と受入費(平日の受入費用)の合計が最も経済的になる再資源化施設を見込んでいる。したがって、正当な理由がある場合を除き処分に要する費用(単価)は変更しない。

また、運搬距離は 13.1 km を見込んでいる。

### (4) 建設汚泥(搬出)

- ・舗装の切断作業時に発生する排水(汚泥)は、産業廃棄物として「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」に基づき、適正に処理しなければならない。

- ・舗装の切断作業時に発生する排水 2m<sup>3</sup> は、建設汚泥として、汚泥の産業廃棄物処分業の中間処理の許可を受けている産業廃棄物中間処理施設に搬出するものとする。なお、搬出先は、

運搬費と受入費の合計が最も安価になる施設を見込んでおり、設計変更の対象としない。

また、運搬距離は 13.1km を見込んでいる。

- ・受注者は、舗装の切断作業時に発生した排水の委託処理に関する契約書の写しを提出すること。また、工事完成後、速やかに本工事の工事名を記載して交付したマニフェストの写しを監督員に提出すること。ただし、アスファルトコア採取の排水については、受注者において適正に管理するものとし、提出は求めない。
- ・実施数量は、次の計算式又はマニフェストの実績の少ない方で契約変更するものとする。  
計算式 排水量 $V=0.023 \times t \times L$  (t:舗装厚(m)、L:切断延長(m))

※舗装版の種類は、アスファルト及びコンクリートを問わない。

なお、適正な処理の実施に際して、排水を脱水処理することができる場合等は、協議の上、当該排水の運搬処理費の削除等について契約変更できるものとする。

## 5. その他

### (1) 支給・貸与品

次のとおり支給品を使用すること。

品名	①耐震補強金具(A)φ300	②耐震補強金具(A)φ100	③フランジ耐震補強金具φ75	④補修弁用フランジ耐震補強金具φ75	⑤耐震型不断水仕切弁φ300
数量	①37個②1個③1個④1個⑤1基				
品質	現場発生品				
引渡し場所	①志和配水池②③④⑤高屋ポンプ所				
引渡し時期	監督員と協議の上決定する。				

### (2) 工事中の安全確保

地下埋設物等の調査結果、必要であれば監督職員と協議の上、試掘を行い、地下埋設物の位置等を確認すること。試掘調査の結果、地下埋設物件等が支障となる場合は、対応方法について監督職員と協議すること。

### (3) 耐震補強金具の施工について

#### ①既設管準備

取り付け前には、ケレン工具及びエアタガネ等を用いて、取り付け部分の砂・錆を落とし清掃を行い、既設管受口部及びフランジ部が健全であることを確認すること。健全であることを確認した上、塗装の剥がれや傷が付いた箇所にはダクタイル鑄鉄管外面補修用塗料をムラなく吹き付けること。著しく腐食している場合は速やかに監督職員に報告し、指示を仰ぐこと。

#### ②取り付け

既設管準備におけるダクタイル鑄鉄管外面補修用塗料が乾いたことを確認した上で取り付けること。取付方法については、施工手順や締付トルク等について施工計画書に記載し、監督職員の承諾を得てから施工すること。

#### ③T頭ボルトナットの交換

耐震補強金具取付作業に先立ち、著しく腐食している既設のT頭ボルトナットを確認した場合は、速やかにT頭ボルトナットの交換を行うものとする。なお、施工手順や締付トルク等について施工計画書に記載し、監督職員の承諾を得てから施工すること。

#### ④ボルトナットの交換

フランジ耐震補強金具を設置する場合は、既設のボルトナットは交換を行うものとする。なお、施工手順や締付トルク等について施工計画書に記載し、監督職員の承諾を得てから施工を行うこと。

#### ⑤チェックシートによる品質管理

受注者は、耐震補強金具・フランジ耐震補強金具取付にあたり、チェックシートを作成し、施工管理すること。チェックシート(チェック項目)については、監督職員の承諾を得ること。

#### ⑥既設管の漏水等

既設管が漏水、又は漏水の恐れがあることを発見した場合は、速やかに監督職員に報告し、その対応について指示を仰ぐこと。

### (4) 水道技術管理補助者検査について

①工事が完成した時は、水道技術管理補助者による検査を受検すること。

## 第4章 施工管理

### 1. 出来形管理

#### (1) 出来形管理報告

広島県水道広域連合企業団東広島事務所の定める「請負工事における施工管理基準」及び「広島県水道広域連合企業団東広島事務所出来形・品質管理基準及び規格値」に基づき、出来形管理を行い、現場作業の完了後、速やかに出来形管理図表、出来形数量対比図表を提出すること。

### 2. 品質管理

#### (1) 品質管理報告

広島県水道広域連合企業団東広島事務所の定める「請負工事における施工管理基準」及び「広島県水道広域連合企業団東広島事務所出来形・品質管理基準及び規格値」に基づき、品質管理を行い、現場作業の完了後、速やかに品質管理図表、各種試験成績図表を提出すること。

## 第5章 その他

### 1. 工事関係書類

- (1) 工事関係書類の作成は、東広島市建設工事関係書類作成要領 -土木工事編-によるものとする。
- (2) 工事関係書類の提出は、「契約関係書類」1部、「施工管理書類」は、工事打合せ簿による場合は2部、その他による場合は1部とする。

### 2. 工事写真

工事写真の撮影に当っては、広島県制定「写真管理基準(令和7年8月)」によるものとし、工事写真の提出部数は、1部とする。

耐震補強継手工の写真管理に関する工種・撮影項目・撮影頻度等は次のとおりとする。

(区分)	(工種)	(撮影項目・頻度)
------	------	-----------

耐震補強金具取付工-ダクタイトイル鑄鉄管外面補修用塗料塗布状況・・・全箇所

耐震補強金具取付工-ダクタイトイル鑄鉄管外面補修用塗料塗布完了・・・全箇所

耐震補強金具取付工-耐震補強金具取付状況・・・全箇所

耐震補強金具取付工-トルクレンチ締付状況・・・10箇所に1箇所

耐震補強金具取付工-ボルトナット交換状況・・・全箇所

耐震補強金具取付工-耐震補強金具取付完了・・・全箇所

耐震補強金具取付工-ポリスリーブ被覆工・・・全箇所

フランジ耐震補強金具取付工-フランジ耐震補強金具取付状況・・・全箇所

フランジ耐震補強金具取付工-トルクレンチ締付状況・・・10箇所に1箇所

フランジ耐震補強金具取付工-ボルトナット交換状況・・・全箇所

フランジ耐震補強金具取付工-フランジ耐震補強金具取付完了・・・全箇所

フランジ耐震補強金具取付工-ポリスリーブ被覆工・・・全箇所

補修弁用フランジ耐震補強金具取付工-既設管取付前清掃状況・・・全箇所

補修弁用フランジ耐震補強金具取付工-既設管取付前清掃完了・・・全箇所

補修弁用フランジ耐震補強金具取付工-補修弁用フランジ耐震補強金具取付状況・・・全箇所

補修弁用フランジ耐震補強金具取付工-トルクレンチ締付状況・・・10箇所に1箇所

補修弁用フランジ耐震補強金具取付工-ボルトナット交換状況・・・全箇所

補修弁用フランジ耐震補強金具取付工-補修弁用フランジ耐震補強金具取付完了・・・全箇所

※全ての継手について、構造物からの離れ及び深さ等が明確となるように継手位置を撮影すること。  
※土工一連写真の撮影頻度は、10箇所に1箇所の割合で撮影すること。また、土工の出来形については、全箇所撮影すること。

なお、土工関連写真と本管布設位置及び、耐震補強金具取付関連写真は分冊し、現場作業が完了

後、速やかに提出すること。

### 3. 疑義の解決等

本特記仕様書及び設計図書に明示していない事項または、その内容に疑義が生じた場合は、監督職員と協議し決定すること。

### 4. 提出書類

- (1) 第1編 1-1-1-2 第15～21項については、工事打合せ簿で行うものとする。
- (2) 工事日報は広島県水道広域連合企業団東広島事務所仕様とし、週ごとに施工した部分を翌週に提出すること。  
工事日報の提出にあたっては、施工部分の継手チェックシートを添付すること。  
なお、工事日報及び継手チェックシートには任意のNoを設け相互にリンクさせること。
- (3) 最初の測点で撮影した土工及び管布設工の写真を仮工事写真として施工後、速やかに提出し、監督職員の確認を受けること。
- (4) 納品書（写し）又は出荷証明書（原本）は集計表を添付して提出すること。
- (5) 広島県水道広域連合企業団東広島事務所の定める「請負工事における施工管理基準」に基づき、出来形管理並びに品質管理を行い、現場作業の完了後、速やかに出来形管理図表、出来形数量対比図表、品質管理図表、各種試験成績図表を提出すること。
- (6) 竣工図は工事日報とあわせて、順次作成を行い現場作業が完了後、速やかに提出すること。
- (7) 工事写真は広島県水道広域連合企業団東広島事務所の定める「請負工事における施工管理基準」に基づいて写真管理を行い、現場作業が完了後、速やかに提出すること。なお、土工関連写真と本管布設位置及び管布設関連写真は分冊として提出すること。

# 工事数量総括表

費目・工種明細など	規格1・規格2	単位	数量	備考
本工事費				
耐震継手補強工		式	1	レベル1
耐震継手補強工		式	1	レベル2
土工		式	1	レベル3
舗装版切断	アスファルト舗装版 アスファルト舗装版厚15cm以下	m	410	レベル4
舗装版破砕	舗装厚 10cm以下 アスファルト舗装版	m2	216	レベル4
管路掘削	バックホウ 排出対策型	式	1	レベル4
人力掘削		式	1	レベル4
真砂詰工	バックホウ 排出対策型	式	1	レベル4
管路埋戻	バックホウ 排出対策型 流用土	式	1	レベル4
下層路盤	仕上り厚15cm, 施工幅 1.8m以上 再生クラッシャー	m2	209	レベル4
下層路盤	仕上り厚15cm, 施工幅 1.8m未満 再生クラッシャー	m2	7	レベル4
上層路盤	仕上り厚12cm, 施工幅 1.8m以上 再生粒調砕石	m2	25	レベル4
上層路盤	仕上り厚12cm, 施工幅 1.8m未満 再生粒調砕石	m2	5	レベル4
上層路盤	仕上り厚17cm, 施工幅 1.8m以上 再生粒調砕石	m2	184	レベル4
上層路盤	仕上り厚17cm, 施工幅 1.8m未満 再生粒調砕石	m2	2	レベル4
仮復旧	t=3cm, フライコートなし 締固め後密度 2.35 t/m3	式	1	レベル4
殻運搬処理	バックホウ排出対策型 AS	m3	20	レベル4

# 工事数量総括表

費目・工種明細など	規格1・規格2	単位	数量	備考
発生土処理	バックホウ排出対策型 建設発生土	式	1	レベル4
土留工		式	1	レベル3
矢板工	矢板長 L=2.10m	式	1	レベル4
矢板工	矢板長 L=2.40m	式	1	レベル4
矢板工	矢板長 L=2.70m	式	1	レベル4
支保工	床掘深さ 2.0m未満 W = 1.90m	式	1	レベル4
支保工	床掘深さ 2.0m以上 W = 1.90m	式	1	レベル4
支保工	床掘深さ 2.0m以上 W = 1.30m	式	1	レベル4
舗装本復旧工	5-5-10-15	式	1	レベル3
舗装版切断	アスファルト舗装版 アスファルト舗装版厚15cm以下	m	520	レベル4
舗装本復旧工【仮復旧部】	再生密粒AS、t=5cm 再生粗粒AS、t=5cm AS(2.35)	m2	186	レベル4
舗装本復旧【影響部】	再生密粒AS、t=5cm 再生粗粒AS、t=5cm AS(2.35)	m2	353	レベル4
区画線設置(溶融式)	実線_白色W = 15cm	m	257	レベル4
区画線設置(溶融式)	実線_白色W = 20cm	m	257	レベル4
舗装本復旧工	5-10-15	式	1	レベル3
舗装版切断	アスファルト舗装版 アスファルト舗装版厚15cm以下	m	56	レベル4
舗装本復旧工【仮復旧部】	再生密粒AS、t=5cm AS(2.35)	m2	37	レベル4
舗装本復旧【影響部】	再生密粒AS、t=5cm AS(2.35)	m2	11	レベル4

# 工事数量総括表

費目・工種明細など	規格1・規格2	単位	数量	備考
耐震継手補強工		式	1	レベル3
耐震補強金具取付工【材工共】	300 A形 3DKN以上	箇所	39	レベル4
耐震補強金具取付工【材料支給】	300 A形 3DKN以上	箇所	37	レベル4
耐震補強金具取付工【材工共】	100 A形 3DKN以上	箇所	1	レベル4
耐震補強金具取付工【材料支給】	100 A形 3DKN以上	箇所	1	レベル4
フランジ耐震補強金具取付工【材工共】	300 A形 3DKN以上	箇所	2	レベル4
フランジ耐震補強金具取付工【材工共】	75 A形 3DKN以上	箇所	1	レベル4
フランジ耐震補強金具取付工【材料支給】	75 A形 3DKN以上	箇所	1	レベル4
補修弁用フランジ耐震補強金具取付工	【材料支給】 1次側2次側一体型 75 7.5K	箇所	1	レベル4
不断水仕切弁設置工（DIP用）【材料支給】	300 耐震型	箇所	1	レベル4
不断水仕切弁設置工（DIP用）【材工共】	100 耐震型	箇所	1	レベル4
仕切弁BOX撤去工	H=1.05m	箇所	1	レベル4
仕切弁BOX設置工	H = 1.05m	箇所	1	レベル4
仕切弁BOX設置工	H = 1.70m	箇所	1	レベル4
仕切弁BOX撤去工	H=0.80m	箇所	1	レベル4
仕切弁BOX設置工	H = 0.80m	箇所	1	レベル4
仕切弁BOX設置工	H = 0.95m	箇所	1	レベル4
支給品運搬	材料置き場（志和配水池）～現場	回	1	レベル4

# 工事数量総括表

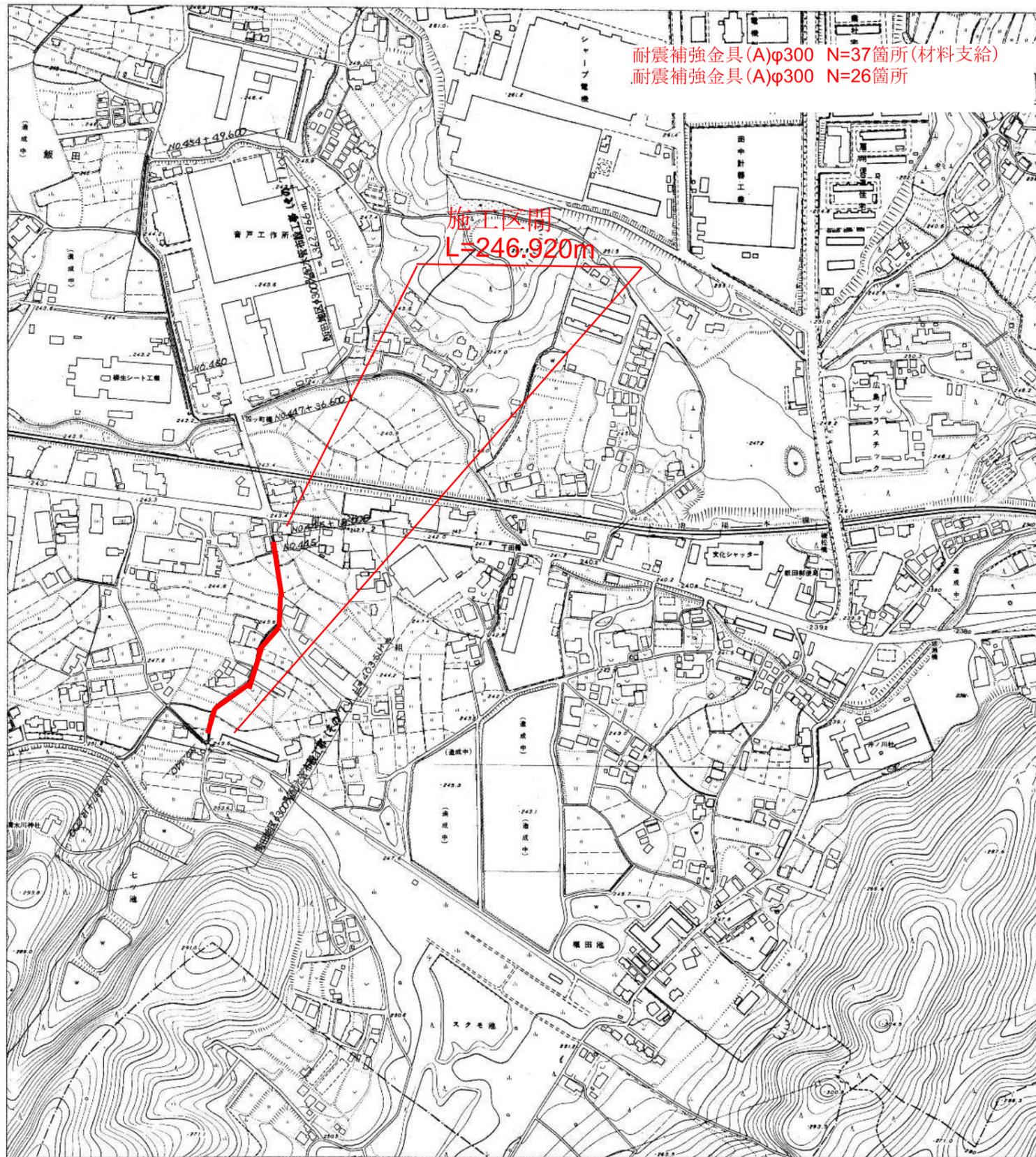
費目・工種明細など	規格1・規格2	単位	数量	備考
支給品運搬	材料置き場（高屋ポンプ所）～現場	回	1	レベル4
ポリエチレンスリーブ被覆工	300【材工共】	m	79	レベル4
ポリエチレンスリーブ被覆工	100【材工共】	m	3	レベル4
ポリエチレンスリーブ被覆工	75【材工共】	m	1	レベル4
管理設シート工	巾15cm 2倍折込式 地色：青、文字色：白	m	116	レベル4
消火栓設置工		式	1	レベル2
消火栓設置工		式	1	レベル3
消火栓設置工		箇所	1	レベル4
消火栓BOX撤去工	H=0.65m	箇所	1	レベル4
消火栓BOX設置工	H = 0.65m	箇所	1	レベル4
舗装版切断排水		式	1	レベル2
舗装版切断排水		式	1	レベル3
舗装版切断排水処理	舗装版切断排水	m3	2	レベル4
交通管理工		式	1	レベル2
交通管理工		式	1	レベル3
交通誘導警備員		人	213	レベル4
直接工事費				
準備費				

# 工事数量総括表

費目・工種明細など	規格1・規格2	単位	数量	備考
準備費		式	1	レベル2
準備費（試掘費）		式	1	レベル3
舗装版切断	アスファルト舗装版 アスファルト舗装版厚15cm以下	m	13	レベル4
舗装版破碎	舗装厚 10cm以下 アスファルト舗装版	m <sup>2</sup>	7	レベル4
管路掘削	バックホ 排出対策型	式	1	レベル4
人力掘削		式	1	レベル4
真砂詰工	バックホ 排出対策型	式	1	レベル4
管路埋戻	バックホ 排出対策型 流用土	式	1	レベル4
下層路盤	仕上り厚15cm, 施工幅 1.8m未満 再生クラッシャー	m <sup>2</sup>	7	レベル4
上層路盤	仕上り厚12cm, 施工幅 1.8m未満 再生粒調碎石	m <sup>2</sup>	7	レベル4
仮復旧	t=3cm, フライコートなし 締固め後密度 2.35 t/m <sup>3</sup>	式	1	レベル4
殻運搬処理	バックホ 排出対策型 AS	m <sup>3</sup>	0.4	レベル4
発生土処理	バックホ 排出対策型 建設発生土	式	1	レベル4
矢板工	矢板長 L=2.10m	式	1	レベル4
支保工	床掘深さ2.0m未満 W = 1.30m	式	1	レベル4
技術管理費				
技術管理費		式	1	レベル2
技術管理費		式	1	レベル3



平面図 S=1/2,500

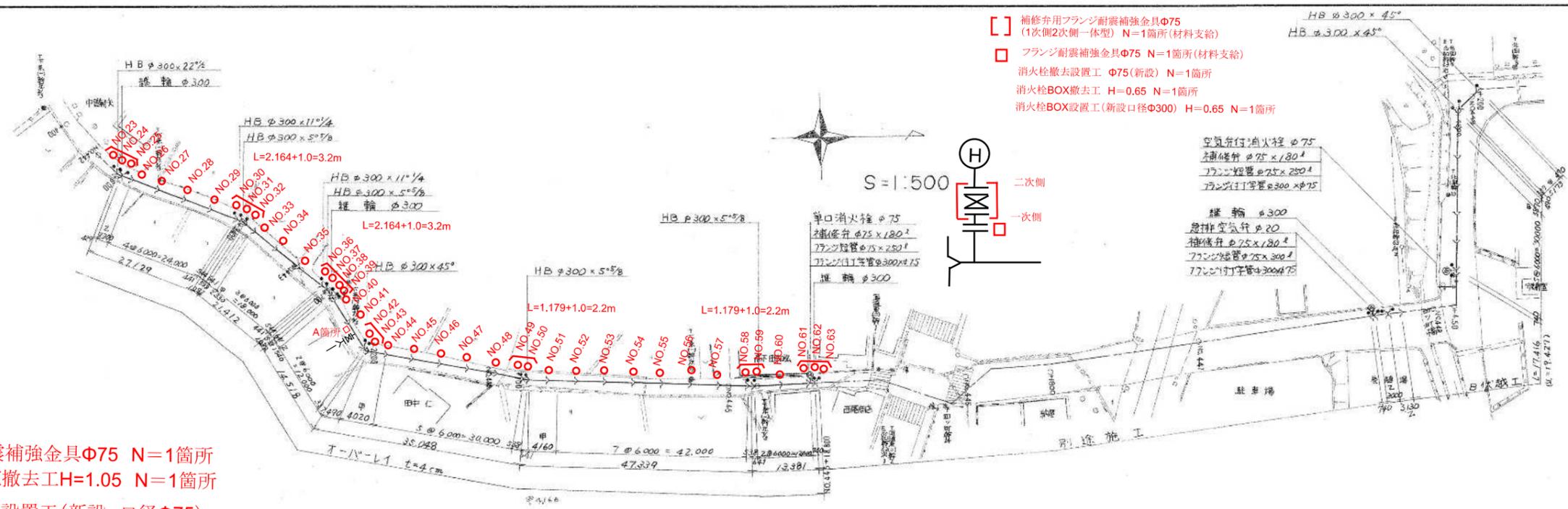


管 材 表

名称	形状寸法	単位	数量	名称	形状寸法	単位	数量
φ75用調整管	A型 3種 φ300×4000 T型 φ200×5000	本	122	仕切弁	φ75	基	1
φ75用調整管	φ180×5000	φ	1	急排空気弁	φ20 Z型	φ	3
φ75用調整管	φ100×4000	φ	1	空気付消火栓	φ75 地下式 地下式	φ	2
φ75用調整管	φ75×4000	φ	4	消火栓	φ75	φ	1
φ75用調整管	φ75×4000	φ	2	補修弁	φ75, L=180	φ	6
T型管	A型 φ300×φ200	個	1	仕切弁ホース類	φ200用 φ200用 φ150用 φ100用 φ100用	組	3
T型管	φ200×φ100	φ	1		φ75用 H=0.80m	φ	1
T型管	φ100×φ100	φ	1		φ75用 H=0.90m	φ	1
受圧ホース管	φ200×φ150	φ	1		φ75用 H=1.02m	φ	2
受圧ホース管	φ300×φ200	φ	1		φ75用 H=1.10m	φ	1
受圧ホース管	φ200×φ150	φ	1	空気付ホース類	φ75用 H=0.80m	φ	3
曲管	φ300×45°	φ	18	空気付消火栓ホース類	φ75用 H=0.80m	φ	2
曲管	φ200×22½°	φ	11	消火栓ホース類	φ75用 H=0.80m	φ	1
曲管	φ100×90°	φ	7	継ぎ足しキー	L=20cm	本	3
曲管	φ100×90°	φ	9		L=40cm	φ	2
曲管	φ200×22½°	φ	1		L=50cm	φ	1
曲管	φ100×90°	φ	1		L=60cm	φ	1
曲管	φ75×45°	φ	4		L=70cm	φ	3
曲管	φ75×45°	φ	1	接合附属品	A型 φ300 特殊接合品	組	128
乙字管	A型 φ300	φ	2	普通接合品	φ250	φ	92
フランジT型管	φ300×φ75	φ	7	特殊接合品	φ200	φ	1
フランジT型管	φ300×φ100	φ	1		φ150	φ	2
フランジT型管	φ300×φ100	φ	2		φ100	φ	2
フランジT型管	φ300×φ100	φ	2		φ75	φ	6
フランジT型管	φ300	φ	17		φ75	φ	2
フランジT型管	φ150	φ	1	T型 φ200	φ	4	
フランジT型管	φ100	φ	2	J型 φ150	φ	2	
フランジT型管	φ75	φ	1	φ100	φ	14	
短管1号	A型 φ300	φ	1	φ75	φ	3	
短管1号	T型 φ150	φ	1	φ200	φ	4	
短管1号	φ100	φ	3	φ150	φ	2	
短管2号	A型 φ300	φ	5	φ100	φ	14	
短管2号	T型 φ200	φ	2	φ75	φ	3	
短管2号	φ150	φ	1	ゴムパッキン φ300	枚	6	
短管2号	φ100	φ	4	φ200	φ	2	
短管2号	φ75	φ	1	φ150	φ	2	
フランジ短管	φ75×250	φ	3	φ100	φ	8	
フランジ短管	φ300	φ	3	φ75	φ	20	
仕切弁	φ300	基	3	ホルト・フット H20×100	本	60	
仕切弁	φ200	φ	1	φ75	φ	140	
仕切弁	φ150	φ	1	管明示粘着テープ φ5cm, 20m巻	巻	38	
仕切弁	φ100	φ	4	滑 剤	kg	0.5	

図面番号	① ⑦	縮尺
工事名	令和7年度 管路更新(耐震化)事業 八木松東三丁目地区ほか配水管耐震継手補強工事	
種別	位置図	
工事箇所	東広島市八木松東三丁目、六丁目	
広島県水道広域連合企業団 東広島事務所		

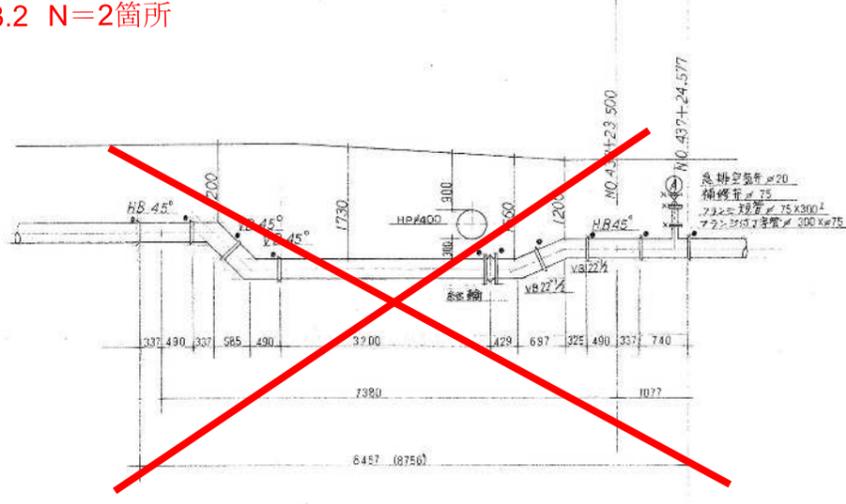




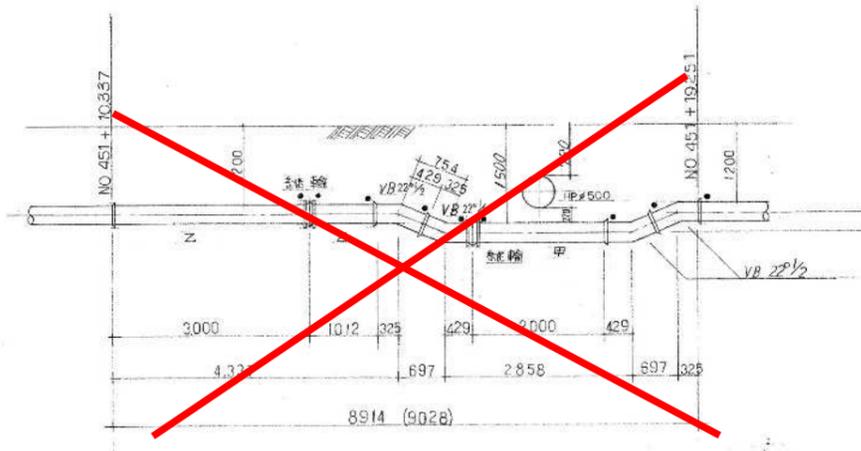
- フランジ耐震補強金具Φ75 N=1箇所
- 仕切弁BOX撤去工H=1.05 N=1箇所
- 仕切弁BOX設置工(新設 口径Φ75) H=1.05 N=1箇所
- 車-A4-75-1.20-L=2.0 N=1箇所

- 耐震補強金具(A)φ300 N=15箇所(材料支給)
- 耐震補強金具(A)φ300 N=26箇所
- 車-A4-300-1.16-L=2.0 N=25箇所
- 車-A4-300-1.16-L=2.2 N=2箇所
- 車-A4-300-1.16-L=3.2 N=2箇所

A 伏設工詳細図 S=1/50

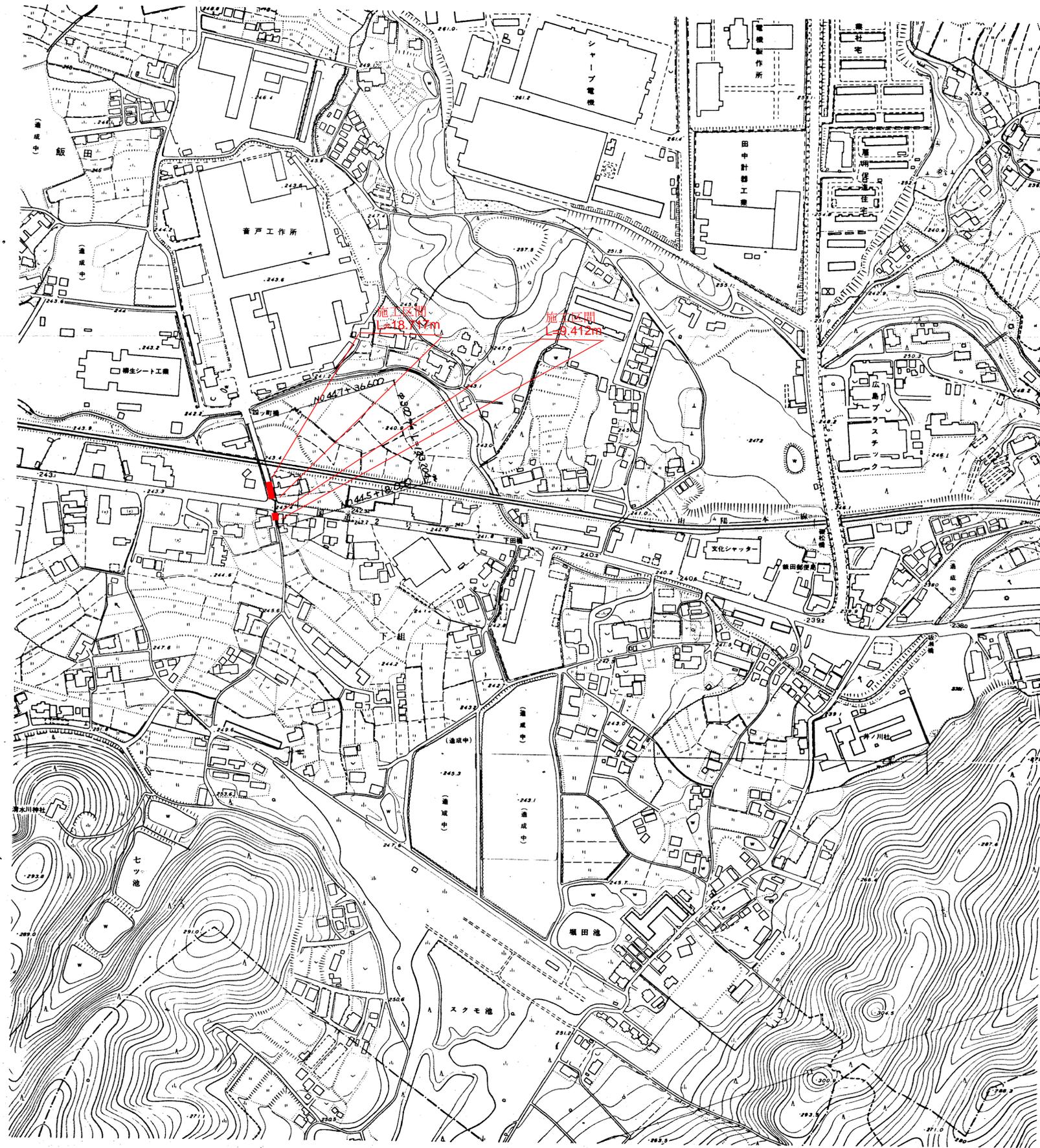


C 伏設工詳細図 S=1/50



図面番号	3 7	縮尺
工事名	令和7年度 管路更新(耐震化)事業 八本松東三丁目地区ほか配水管耐震継手補強工事	
種別	詳細図	
工事箇所	東広島市八本松東三丁目、六丁目	
広島県水道広域連合企業団 東広島事務所		

平面図 S=1/2,500



耐震補強金具(A)φ300 N=13箇所  
 耐震補強金具(A)φ100 N=1箇所(材料支給)  
 耐震補強金具(A)φ100 N=1箇所

図面番号	4 7	縮尺
工事名	令和7年度 管路更新(耐震化)事業 八本松東三丁目地区ほか配水管耐震継手補強工事	
種別	位置図	
工事箇所	東広島市八本松東三丁目、六丁目	
広島県水道広域連合企業団 東広島事務所		

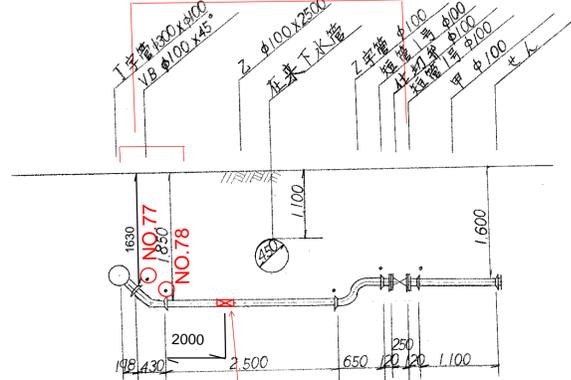
# 配管図

S = 1/200

## φ100mm分岐工詳細図

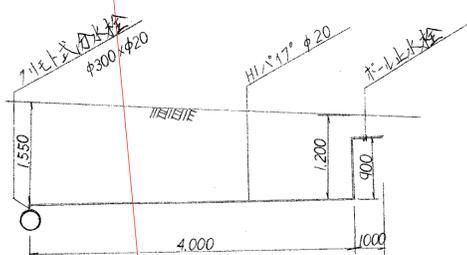
S = 1/50

車-A1-100-1.73(1.60~1.85) L=5.1 試験工



## φ20mm分岐工詳細図

S = 1/50



- フランジ耐震補強金具φ300 N=2箇所
- 仕切弁BOX撤去工 H=0.80 N=1箇所
- 仕切弁BOX設置工(新設 口径φ300) H=0.80 N=1箇所
- 車-A1-300-1.23 L=2.0 N=1箇所

耐震型 不断水仕切弁設置工 φ100(DIP用)  
仕切弁BOX設置工(新設 口径φ100) H=1.70 N=1箇所  
継ぎ足しキー L=1000  
車-A1-100-1.85L=2.0 N=1箇所

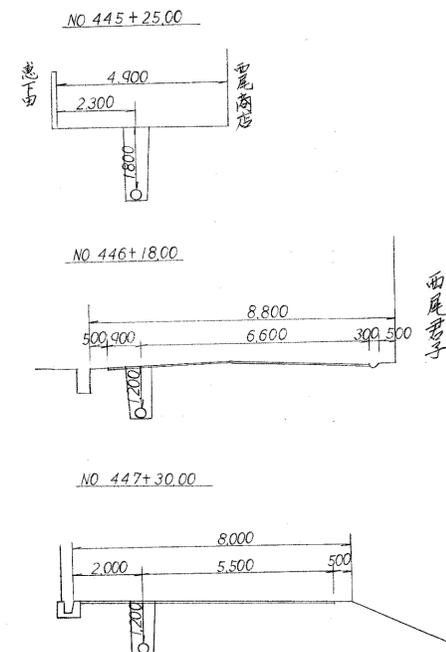
耐震型 不断水仕切弁設置工 φ300(DIP用)(材料支給)  
仕切弁BOX設置工(新設 口径φ300) H=0.95 N=1箇所  
継ぎ足しキー L=500  
車-A1-300-1.35L=2.0 N=1箇所

耐震補強金具(A)φ300 N=13箇所  
車-A4-300-1.54(1.25~1.83) L=2.0 N=1箇所 NO.64~NO.66  
車-A4-300-1.79L=2.0 N=2箇所 NO.67 NO.68~NO.69  
車-A1-300-1.54L=2.0 N=1箇所 NO.70  
車-A1-300-1.35L=3.0 N=1箇所 NO.71~NO.74  
車-A1-300-1.35L=2.0 N=2箇所 NO.75 NO.76

耐震補強金具(A)φ100 N=1箇所  
耐震補強金具(A)φ100 N=1箇所(材料支給)  
車-A1-100-1.74(1.63~1.85) L=2.0 N=1箇所 NO.78~NO.79

## 横断面

S = 1/100

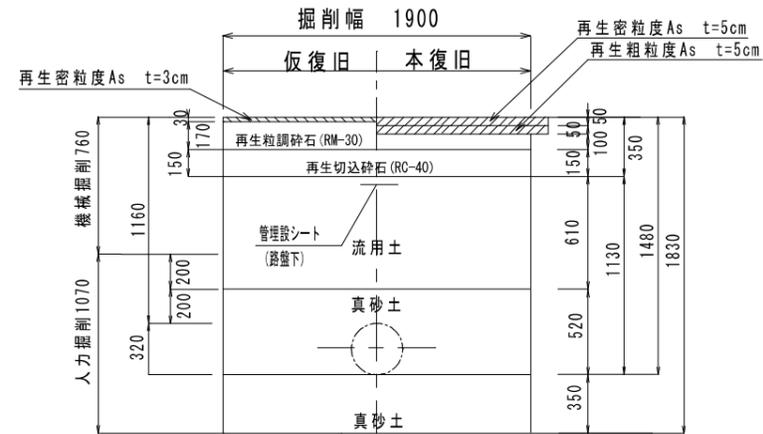


図面番号	5 7	縮尺
工事名	令和7年度 管路更新(耐震化)事業 八本松東三丁目地区ほか配水管耐震継手補強工事	
種別	詳細図	
工事箇所	東広島市八本松東三丁目、六丁目	
広島県水道広域連合企業団 東広島事務所		

L=2.0m L=2.2m  
L=2.6m L=3.2m L=3.6m  
NO.1~NO.63

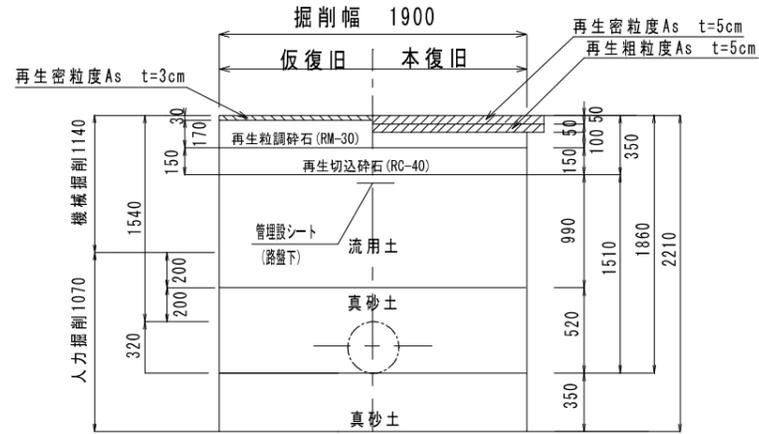
床掘標準断面図

車-A4-300-1.16



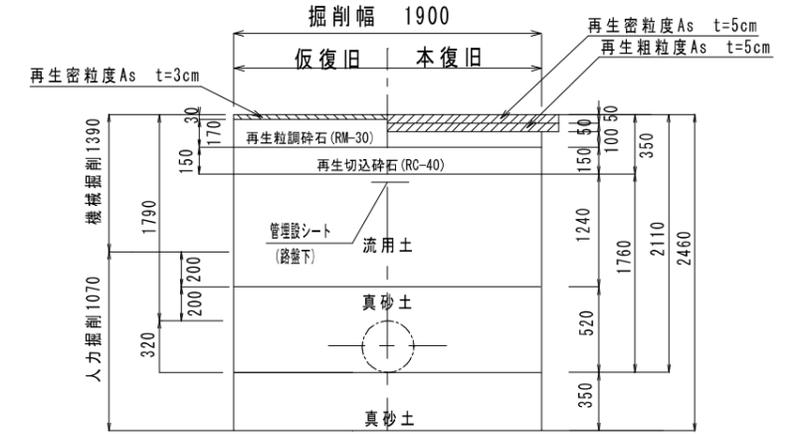
L=2.0m  
NO.64~NO.66  
床掘標準断面図

車-A4-300-1.54



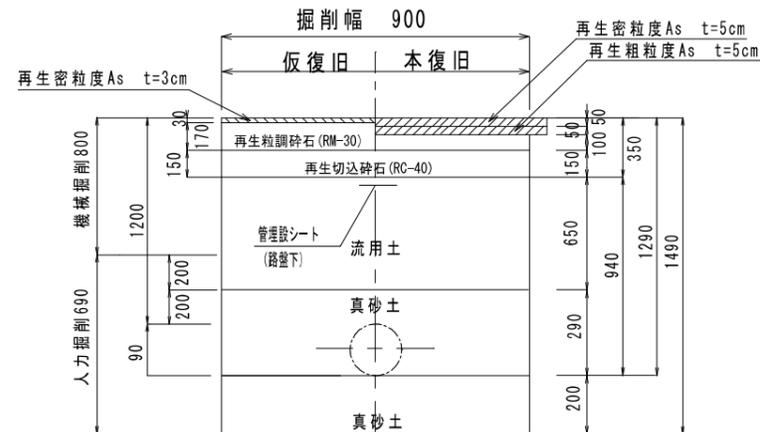
L=2.0m  
NO.67 NO.68~NO.69  
床掘標準断面図

車-A4-300-1.79



L=2.0m  
A箇所  
床掘標準断面図

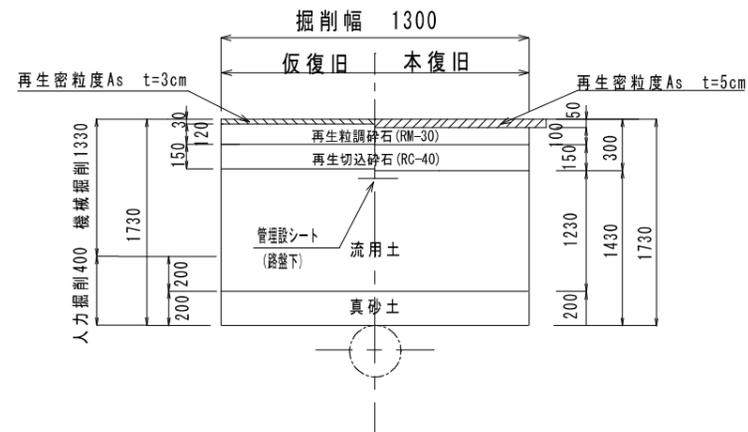
車-A4-75-1.20



L=5.1m

床掘標準断面図

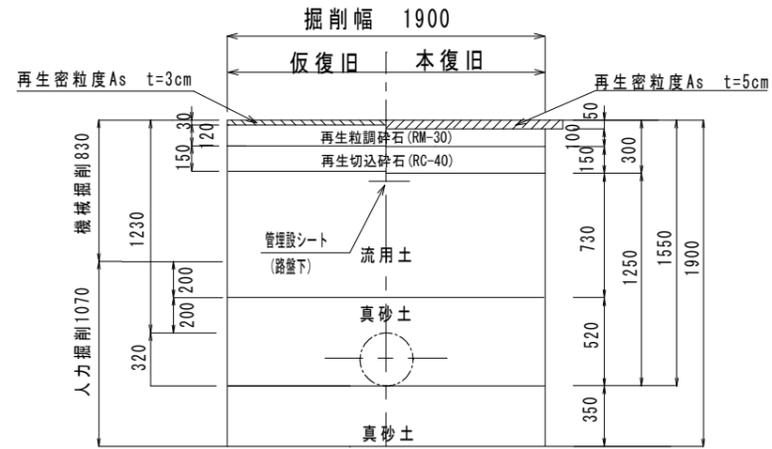
車-A1-100-1.73 試掘工



図面番号	6 7	縮尺	S=1:Free
工事名	令和7年度 管路更新(耐震化)事業 八木松東三丁目地区ほか配水管耐震継手補強工事		
種別	床掘標準断面図		
工事箇所	東広島市八木松東三丁目、六丁目		
広島県水道広域連合企業団 東広島事務所			

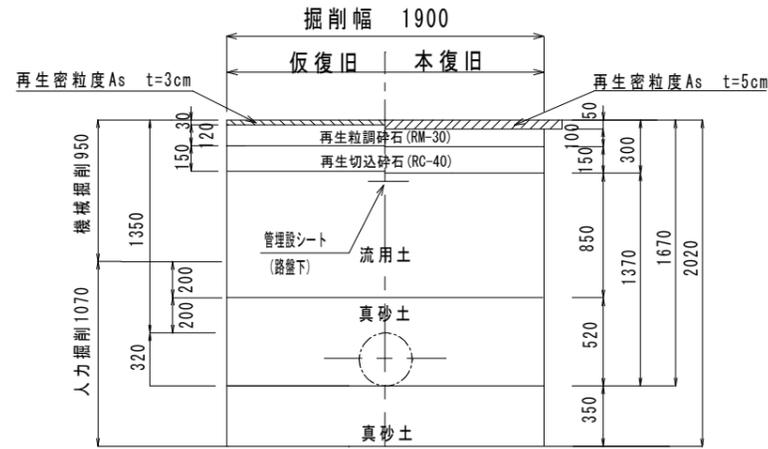
L=2.0m  
B箇所  
床掘標準断面図

車-A1-300-1.23



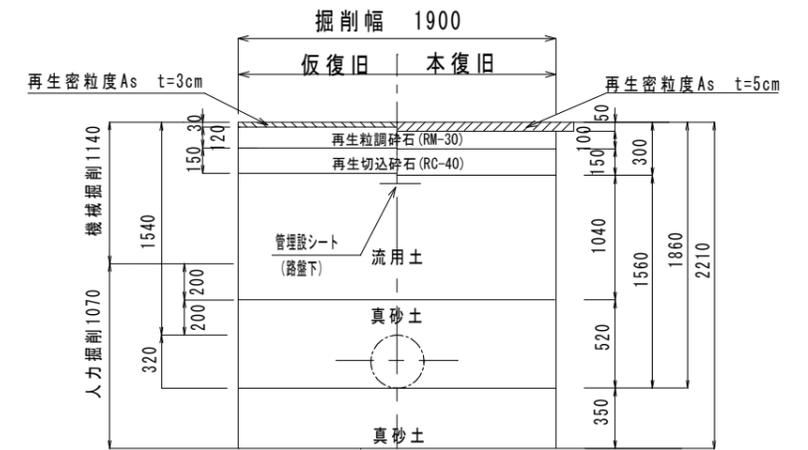
L=2.0m L=3.0m  
NO.71~NO.74 NO.75 NO.76  
耐震型 不断水仕切弁設置工φ300 (DIP)  
床掘標準断面図

車-A1-300-1.35



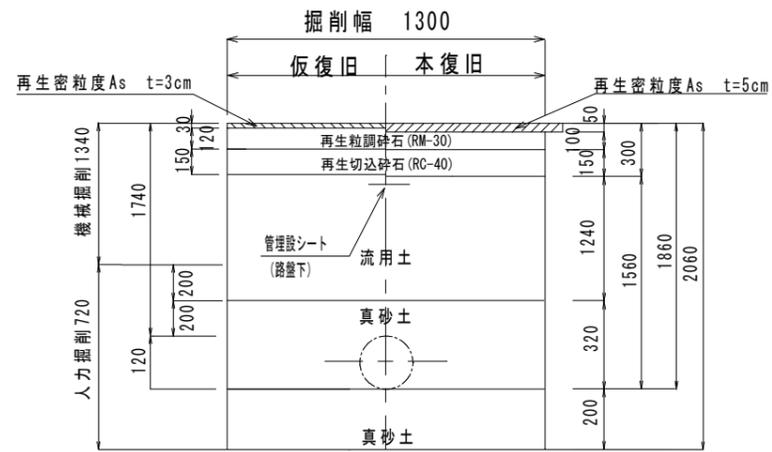
L=2.0m  
NO.70  
床掘標準断面図

車-A1-300-1.54



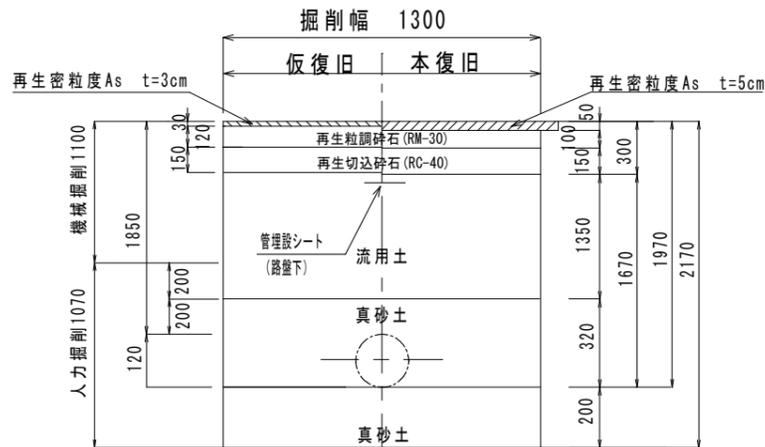
L=2.0m  
NO.78~NO.79  
床掘標準断面図

車-A1-100-1.74



L=2.0m  
耐震型 不断水仕切弁設置工φ100 (DIP)  
床掘標準断面図

車-A1-100-1.85



図面番号	7/7	縮尺	S=1:Free
工事名	令和7年度 管路更新(耐震化)事業 八本松東三丁目地区ほか配水管耐震継手補強工事		
種別	床掘標準断面図		
工事箇所	東広島市八本松東三丁目、六丁目		
広島県水道広域連合企業団 東広島事務所			

## 参 考 図 書

工事名称 : 令和7年度 管路更新(耐震化)事業  
八本松東三丁目地区ほか配水管耐震継手補強工事

### <注意事項>

- 1 本工事は、数量公開の対象工事です。
- 2 この数量書は適正な積算のための参考指標として数量を示すものです。  
数量は参考数量であり、設計図書ではありません。内容の如何にかかわらず、契約上の拘束を  
するものではありません。
- 3 本工事は広島県制定『土木工事共通仕様書』の規定のほか、  
広島県水道広域連合企業団東広島事務所制定『設計・施工指針（施工指針編）』  
同 『設計・施工指針（配管標準図集）』  
同 『土工断面工事写真撮影例』  
同 『立会・段階確認項目一覧表』  
に基づいて実施することとしておりますので、これらの入手もお願いいたします。

入手先：広島県水道広域連合企業団ホームページよりダウンロードできます  
ホームページ

>事業者の皆様

>関係規程・各種様式 - 東広島事務所

>各種様式等ダウンロード

(東広島事務所工務課でもCDを貸し出ししております。)

#### 4 その他

・当該工事により発生する建設発生土は、公の関与する埋立地、広島県制定の建設発生土処分先一覧表に掲載されている建設発生土リサイクルプラント、建設発生土受入地又は建設発生土受入地（一時たい積）のいずれかに搬出するものとする。搬出先として、次の施設を見込んでいる。

種 別	施設の名称	所在地	運搬距離
建設発生土	(有)広剛産業 福富残土処分場 1	東広島市福富町上戸野大井出 1460-1	14.2 km

・当該工事により発生する As 殻 Co 殻は、広島県制定の再資源化施設一覧表に掲載されている施設に搬出するものとする。搬出先として、次の施設を見込んでいる。

種 別	施設の名称	所在地	運搬距離
As 殻	(有)トラスト	東広島市西条町上三永 348-14	13.1 km

種 別	施設の名称	所在地	運搬距離
Co 殻	(株)スナダ	東広島市志和町七条椀坂 10488-160	6.1 km

・当該工事により発生する建設汚泥は、汚泥の産業廃棄物処分業の中間処理の許可を受けている産業廃棄物中間処理施設に搬出するものとする。搬出先として、次の施設を見込んでいる。

種 別	施設の名称	所在地	運搬距離
建設汚泥	(有)トラスト	東広島市西条町上三永 348-14	13.1 km

# 総括情報表

変更回数 適用単価地区 単価適用日  諸経費体系	0 44 東広島市 00-07.12.01(0)  N 水道(R02.01～)	凡例 Co・・・コンクリート      As・・・アスファルト DT・・・ダンプトラック      BH・・・バックホウ CC・・・クローラクレーン      TC・・・トラッククレーン RTC・・・ラフテレーンクレーン
	当世代 01 開削及小口径推進工事等 00 補正なし 03 一般交通影響あり 09 閉所型・月単位 00 補正なし 00 率分額計上しない 00 通常工事 0% 00 補正なし 01 金銭的保証(0.04%) 00 補正なし	前世代
建設技能労働者や交通誘導員等の現場労働者にかかる経費として、労務費のほか各種経費（法定福利費の事業者負担額，労務管理費，安全訓練等に要する費用等）が必要であり，本積算ではこれらを現場管理費等の一部として率計上している。		

# 本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
本工事費					X1000
耐震継手補強工					Y1999 レベル1
	1	式			
耐震継手補強工					Y2999 レベル2
	1	式			
土工					Y3999 レベル3
	1	式			
舗装版切断 アスファルト舗装版 アスファルト舗装版厚15cm以下					Y4999 レベル4
	410	m			
舗装版切断 アスファルト舗装版 アスファルト舗装版厚15cm以下					SPK25040307 00
	410	m			単第0 -0001 表
舗装版破碎 舗装厚 10cm以下 アスファルト舗装版					Y4999 レベル4
	216	m2			
舗装版取壊し積込工 舗装厚 0cm超え10cm以下					SQ004 00
	216	m2			単第0 -0002 表
管路掘削 ハックル 排出対策型					Y4999 レベル4
	160	m3			

# 本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
管路掘削 バックホ 排出対策型	160	m3			SQ005 00 単第0 -0004 表
人力掘削	220	m3			Y4999 レベル4
床掘り 土砂 現場制約あり	220	m3			SPK25040015 00 単第0 -0006 表
真砂詰工 バックホ 排出対策型	180	m3			Y4999 レベル4
真砂詰工(管上20cm迄) B<1.0 バックホ 排出対策型	180	m3			VSW101028 00 単第0 -0007 表
管路埋戻 バックホ 排出対策型 流用土	150	m3			Y4999 レベル4
管路埋戻 BH投入・タンパ締固め クローラ型山積0.28m3(平積0.2m3)	150	m3			SQ006 00 単第0 -0009 表
仮置運搬工(流用土) バックホ 排出対策型 往復,砂質土	150	m3			VSW611028 00 単第0 -0011 表
下層路盤 仕上り厚15cm,施工幅 1.8m以上 再生クラッシャー	209	m2			Y4999 レベル4

# 本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
路盤工 施工幅 1.8m以上 一層仕上り厚15cm	209	m2			SQZ10 00  単第0 -0016 表
下層路盤 仕上り厚15cm, 施工幅 1.8m未満 再生クラッシャー	7	m2			Y4999 レベル4
路盤工 施工幅 1.8m未満 一層仕上り厚15cm	7	m2			SQZ10 00  単第0 -0019 表
上層路盤 仕上り厚12cm, 施工幅 1.8m以上 再生粒調砕石	25	m2			Y4999 レベル4
路盤工 施工幅 1.8m以上 一層仕上り厚12cm	25	m2			SQZ10 00  単第0 -0020 表
上層路盤 仕上り厚12cm, 施工幅 1.8m未満 再生粒調砕石	5	m2			Y4999 レベル4
路盤工 施工幅 1.8m未満 一層仕上り厚12cm	5	m2			SQZ10 00  単第0 -0021 表
上層路盤 仕上り厚17cm, 施工幅 1.8m以上 再生粒調砕石	184	m2			Y4999 レベル4
路盤工 施工幅 1.8m以上 一層仕上り厚10cm	184	m2			SQZ10 00  単第0 -0022 表

# 本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
路盤工 施工幅 1.8m以上 一層仕上り厚7cm	184	m2			SQZ10 00  単第0 -0023 表
上層路盤 仕上り厚17cm,施工幅 1.8m未満 再生粒調砕石	2	m2			Y4999 レベル4
路盤工 施工幅 1.8m未満 一層仕上り厚10cm	2	m2			SQZ10 00  単第0 -0024 表
路盤工 施工幅 1.8m未満 一層仕上り厚7cm	2	m2			SQZ10 00  単第0 -0025 表
仮復旧 t=3cm,プライムコートなし 締固め後密度 2.35t/m3	216	m2			Y4999 レベル4
アスファルト舗装工(人力) 車道及び路肩 仕上厚3cm 締固め後密度 2.35t/m3	216	m2			SQ000017 00  単第0 -0026 表
殻運搬処理 バックホウ排出対策型 AS	20	m3			Y4999 レベル4
残土処理工(舗装版) バックホウ 排出対策型 As	20	m3			VSW604028 00  単第0 -0029 表
【直接工事費に含まれる処分費等】 「処分費等」の取扱いによる					#0041

# 本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
投棄料 アスファルト殻(密度2.35t/m3) (有)トラスト	20	m3			F02000 00
発生土処理 バックホウ排出対策型 建設発生土	210	m3			Y4999 レベル4
残土処理工(残土) バックホウ 排出対策型 砂質土	210	m3			VSW605028 00  単第0 -0031 表
【直接工事費に含まれる処分費等】 「処分費等」の取扱いによる					#0041
処分費(リサイクルプラント) 砂・砂質土・礫質土 (有)広剛産業 福富残土処分場1	210	m3			F01000 00
土留工	1	式			Y3999 レベル3
矢板工 矢板長 L=2.10m	176.6	m			Y4999 レベル4
木矢板設置・撤去工 矢板長 L=2.10m 転用	176.6	m			SQ010 00  単第0 -0033 表
矢板工 矢板長 L=2.40m	23.2	m			Y4999 レベル4

# 本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
木矢板設置・撤去工 矢板長 L=2.40m 転用	23.2	m			SQ010 00 単第0 -0034 表
矢板工 矢板長 L=2.70m	15.6	m			Y4999 レベル4
木矢板設置・撤去工 矢板長 L=2.70m 転用	15.6	m			SQ010 00 単第0 -0035 表
支保工 床掘深さ 2.0m未満 W = 1.90m	176.6	m			Y4999 レベル4
木製支保工設置工 木矢板 床掘深さ 2.0m未満	176.6	m			SQ020 00 単第0 -0036 表
木製支保工撤去工 木矢板 床掘深さ 2.0m未満	176.6	m			SQ020 00 単第0 -0037 表
支保工 床掘深さ 2.0m以上 W = 1.90m	32.2	m			Y4999 レベル4
木製支保工設置工 木矢板 床掘深さ 2.0m以上	32.2	m			SQ020 00 単第0 -0038 表
木製支保工撤去工 木矢板 床掘深さ 2.0m以上	32.2	m			SQ020 00 単第0 -0039 表

# 本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
支保工 床掘深さ 2.0m以上 W = 1.30m	6.6	m			Y4999 レベル4
木製支保工設置工 木矢板 床掘深さ 2.0m以上	6.6	m			SQ020 00 単第0 -0040 表
木製支保工撤去工 木矢板 床掘深さ 2.0m以上	6.6	m			SQ020 00 単第0 -0041 表
舗装本復旧工 5-5-10-15	1	式			Y3999 レベル3
舗装版切断 アスファルト舗装版 アスファルト舗装版厚15cm以下	520	m			Y4999 レベル4
舗装版切断 アスファルト舗装版 アスファルト舗装版厚15cm以下	520	m			SPK25040307 00 単第0 -0001 表
舗装本復旧工【仮復旧部】 再生密粒AS、t=5cm 再生粗粒AS、t=5cm AS(2.35)	186	m2			Y4999 レベル4
舗装本復旧工【仮復旧部】As(2.35) 再生密粒13、t=5cm 再生粗粒20、t=5cm	186	m2			VSW2020283 00 単第0 -0042 表
【直接工事費に含まれる処分費等】 「処分費等」の取扱いによる					#0041

# 本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
処分費(リサイクルプラント) 砂・砂質土・礫質土 (有)広剛産業 福富残土処分場1	13	m3			F01000 00
投棄料 アスファルト殻(密度2.35t/m3) (有)トラスト	6	m3			F02000 00
舗装本復旧【影響部】 再生密粒AS、t=5cm 再生粗粒AS、t=5cm AS(2.35)	353	m2			Y4999 レベル4
舗装本復旧工【影響部】As(2.35) 再生密粒13、t=5cm 再生粗粒20、t=5cm	353	m2			VSW2020284 00 単第0 -0047 表
【直接工事費に含まれる処分費等】 「処分費等」の取扱いによる					#0041
投棄料 アスファルト殻(密度2.35t/m3) (有)トラスト	35	m3			F02000 00
区画線設置(溶融式) 実線_白色W = 15cm	257	m			Y4999 レベル4
区画線設置(溶融式) 実線_15cm	257	m			SDT00001 00 単第0 -0048 表
区画線設置(溶融式) 実線_白色W = 20cm	257	m			Y4999 レベル4

# 本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
区画線設置(溶融式) 実線_20cm	257	m			SDT00001 00 単第0 -0049 表
舗装本復旧工 5-10-15	1	式			Y3999 レベル3
舗装版切断 アスファルト舗装版 アスファルト舗装版厚15cm以下	56	m			Y4999 レベル4
舗装版切断 アスファルト舗装版 アスファルト舗装版厚15cm以下	56	m			SPK25040307 00 単第0 -0001 表
舗装本復旧工【仮復旧部】 再生密粒AS、t=5cm AS(2.35)	37	m2			Y4999 レベル4
舗装本復旧工【仮復旧部】 再生密粒13、t=5cm As(2.35)	37	m2			V000000100 00 単第0 -0050 表
【直接工事費に含まれる処分費等】 「処分費等」の取扱いによる					#0041
処分費(リサイクルプラント) 砂・砂質土・礫質土 (有)広剛産業 福富残土処分場1	1	m3			F01000 00
投棄料 アスファルト殻(密度2.35t/m3) (有)トラスト	1	m3			F02000 00

# 本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
舗装本復旧【影響部】 再生密粒AS、t=5cm AS(2.35)	11	m2			Y4999 レベル4
舗装本復旧工【影響部】 再生密粒13、t=5cm As(2.35)	11	m2			V00000200 00 単第0 -0052 表
【直接工事費に含まれる処分費等】 「処分費等」の取扱いによる					#0041
投棄料 アスファルト殻(密度2.35t/m3) (有)トラスト	1	m3			F02000 00
耐震継手補強工	1	式			Y3999 レベル3
耐震補強金具取付工【材共】 300 A形 3DKN以上	39	箇所			Y4999 レベル4
耐震補強金具取付工 300	39	箇所			VTH1003001 00 単第0 -0053 表
【管材費】 共通仮設費[対象/2] , 現場管理費[対象/2] 一般管理費[対象]					#0042
耐震補強金具 300 A形鉄管用(離脱防止性能3DKN)	39	個			THSFA003058 00 分割型(離脱防止金具)

# 本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
耐震補強金具取付工【材料支給】 300 A形 3DKN以上	37	箇所			Y4999 レベル4
耐震補強金具取付工 300	37	箇所			VTH1003001 00 単第0 -0053 表
耐震補強金具取付工【材工共】 100 A形 3DKN以上	1	箇所			Y4999 レベル4
耐震補強金具取付工 100	1	箇所			VTH1001001 00 単第0 -0055 表
【管材費】 共通仮設費[対象/2] , 現場管理費[対象/2] 一般管理費[対象]					#0042
耐震補強金具 100 A形鋳鉄管用(離脱防止性能3DKN)	1	個			THSFA003054 00 分割型(離脱防止金具)
耐震補強金具取付工【材料支給】 100 A形 3DKN以上	1	箇所			Y4999 レベル4
耐震補強金具取付工 100	1	箇所			VTH1001001 00 単第0 -0055 表
フランジ耐震補強金具取付工【材工共】 300 A形 3DKN以上	2	箇所			Y4999 レベル4

# 本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
フランジ耐震補強金具取付工 300 (既設ボルトナット取替え含む)	2	箇所			VFH2003001 00  単第0 -0057 表
【管材費】 共通仮設費[対象/2] , 現場管理費[対象/2] 一般管理費[対象]					#0042
フランジ耐震補強金具 300 離脱防止性能3DKN	2	組			THSFA003078 00  ボルトナット含む
フランジ耐震補強金具取付工【材工共】 75 A形 3DKN以上	1	箇所			Y4999 レベル4
フランジ耐震補強金具取付工 75 (既設ボルトナット取替え含む)	1	箇所			VFH2000751 00  単第0 -0060 表
【管材費】 共通仮設費[対象/2] , 現場管理費[対象/2] 一般管理費[対象]					#0042
フランジ耐震補強金具 75 離脱防止性能3DKN	1	組			THSFA003073 00  ボルトナット含む
フランジ耐震補強金具取付工【材料支給】 75 A形 3DKN以上	1	箇所			Y4999 レベル4
フランジ耐震補強金具取付工 75 (既設ボルトナット取替え含む)	1	箇所			VFH2000751 00  単第0 -0060 表

# 本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
補修弁用フランジ耐震補強金具取付工 【材料支給】 1次側2次側一体型 75 7.5K	1	箇所			Y4999 レベル4
フランジ耐震補強金具取付工 75 (既設ボルトナット取替え含む)	2	箇所			VFH2000751 00 単第0 -0060 表
不断水仕切弁設置工 (DIP用) 【材料支給】 300 耐震型	1	箇所			Y4999 レベル4
不断水仕切弁設置工 (DIP用) 300 耐震型	1	箇所			F3000 00
不断水仕切弁設置工 (DIP用) 【材工共】 100 耐震型	1	箇所			Y4999 レベル4
不断水仕切弁設置工 (DIP用) 100 耐震型	1	箇所			F1000 00
【管材費】 共通仮設費 [対象/2] , 現場管理費 [対象/2] 一般管理費 [対象]					#0042
不断水仕切弁 (DIP用) 100 耐震型 7.5K	1	組			F2000 00
仕切弁BOX撤去工 H=1.05m	1	箇所			YZZ01001004 レベル4

# 本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
仕切弁BOX撤去工 口径 75, 土被り 1.20, 高さ 1.05	1	箇所			V00000100 00 単第0 -0063 表
残土処理工(仕切弁BOX) バックホウ 排出対策型 Co	0.1	m3			VSW608028 00 単第0 -0064 表
【直接工事費に含まれる処分費等】 「処分費等」の取扱いによる					#0041
投棄料 コンクリート殻(密度2.35t/m3) (株)スナダ	0.1	m3			F03000 00
仕切弁BOX設置工 H=1.05m	1	箇所			Y4999 レベル4
仕切弁BOX設置工【材工共】 口径 75, 土被り 1.20, 高さ 1.05 東広島市型	1	箇所			VSΒ1000753 00 単第0 -0068 表
仕切弁BOX設置工 H=1.70m	1	箇所			Y4999 レベル4
仕切弁BOX設置工【材工共】 口径 100, 土被り 1.85, 高さ 1.70 継ぎ足しキL=1000含む 東広島市型	1	箇所			VSΒ1001003 00 単第0 -0069 表
仕切弁BOX撤去工 H=0.80m	1	箇所			YZZ01001004 レベル4

# 本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
仕切弁BOX撤去工 口径 300, 土被り 1.23, 高さ 0.80	1	箇所			V00000200 00 単第0 -0070 表
残土処理工(仕切弁BOX) バックホウ 排出対策型 Co	0.1	m3			VSW608028 00 単第0 -0064 表
【直接工事費に含まれる処分費等】 「処分費等」の取扱いによる					#0041
投棄料 コンクリート殻(密度2.35t/m3) (株)スナダ	0.1	m3			F03000 00
仕切弁BOX設置工 H=0.80m	1	箇所			Y4999 レベル4
仕切弁BOX設置工【材工共】 口径 300, 土被り 1.23, 高さ 0.80 東広島市型	1	箇所			VS01003003 00 単第0 -0071 表
仕切弁BOX設置工 H=0.95m	1	箇所			Y4999 レベル4
仕切弁BOX設置工【材工共】 口径 300, 土被り 1.35, 高さ 0.95 継ぎ足しキール=500含む 東広島市型	1	箇所			V00000300 00 単第0 -0072 表
支給品運搬 材料置き場(志和配水池)~現場	1	回			YZZ01001004 レベル4

# 本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
現場発生品及び支給品運搬 クレーン装置付トラック 4 t積・2.9 t 片道運搬距離 5.9km	1	回			SQ601 00  単第0 -0073 表
支給品運搬 材料置き場（高屋ポンプ所）～現場	1	回			YZZ01001004レベル4
現場発生品及び支給品運搬 クレーン装置付トラック 4 t積・2.9 t 片道運搬距離 11.6km	1	回			SQ601 00  単第0 -0075 表
ポリエチレンスリーブ被覆工 300【材工共】	79	m			YZZ01001004レベル4
ポリエチレンスリーブ被覆工 300【材工共】	79	m			VSE400300 00  単第0 -0076 表
ポリエチレンスリーブ被覆工 100【材工共】	3	m			YZZ01001004レベル4
ポリエチレンスリーブ被覆工 100【材工共】	3	m			VSE400100 00  単第0 -0077 表
ポリエチレンスリーブ被覆工 75【材工共】	1	m			YZZ01001004レベル4
ポリエチレンスリーブ被覆工 75【材工共】	1	m			VSE400075 00  単第0 -0078 表

# 本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
管理設シート工 巾15cm 2倍折込式 地色：青、文字色：白	116	m			YZZ01001004レベル4
管理設シート工 巾15cm 2倍折込式【材工共】 地色：青、文字色：白	116	m			VSE500 00 単第0 -0079 表
消火栓設置工	1	式			Y1K0109 レベル2
消火栓設置工	1	式			Y1K010901 レベル3
消火栓設置工	1	箇所			Y4999 レベル4
消火栓設置工 東広島市型 区画線（黄色ライン）W = 15cm	1	箇所			V00000400 00 単第0 -0081 表
【管材費】 共通仮設費[対象/2] , 現場管理費[対象/2] 一般管理費[対象]					#0042
消火栓設置工【管材費】 東広島市型 区画線（黄色ライン）W = 15cm	1	箇所			V00000500 00 単第0 -0084 表
消火栓BOX撤去工 H=0.65m	1	箇所			YZZ01001004レベル4

# 本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
消火栓BOX撤去工 口径 300, 土被り 1.16, 高さ 0.65	1	箇所			V00000600 00 単第0 -0085 表
残土処理工(仕切弁BOX) バックホウ 排出対策型 Co	0.1	m3			VSW608028 00 単第0 -0064 表
【直接工事費に含まれる処分費等】 「処分費等」の取扱いによる					#0041
投棄料 コンクリート殻(密度2.35t/m3) (株)スナダ	0.1	m3			F03000 00
消火栓BOX設置工 H=0.65m	1	箇所			Y4999 レベル4
消火栓BOX設置工【材工共】 口径 300, 土被り 1.16, 高さ 0.65 東広島市型	1	箇所			V00000700 00 単第0 -0086 表
舗装版切断排水	1	式			Y2999 レベル2
舗装版切断排水	1	式			Y3999 レベル3
舗装版切断排水処理 舗装版切断排水	2	m3			Y4999 レベル4

# 本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
汚泥吸排車運転 積載質量3.1～3.5t 吸入管径75mm	0.1	日			V9999 00 単第0 -0087 表
【直接工事費に含まれる処分費等】 「処分費等」の取扱いによる					#0041
濁水処理費 舗装版切断排水 (有)トラスト	2	m3			F04000 00
交通管理工	1	式			Y1K0109 レベル2
交通管理工	1	式			Y1K010901 レベル3
交通誘導警備員	213	人			Y1K01090101 レベル4
交通誘導警備員B	213	人			R0369 00
直接工事費					
準備費					Z0002

# 本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
準備費					YZZ02 レベル2
	1	式			
準備費（試掘費）					YZZ02001 レベル3
	1	式			
舗装版切断 アスファルト舗装版 アスファルト舗装版厚15cm以下					Y4999 レベル4
	13	m			
舗装版切断 アスファルト舗装版 アスファルト舗装版厚15cm以下					SPK25040307 00
	13	m			単第0 -0001 表
舗装版破碎 舗装厚 10cm以下 アスファルト舗装版					Y4999 レベル4
	7	m2			
舗装版取壊し積込工 舗装厚 0cm超え10cm以下					SQ004 00
	7	m2			単第0 -0002 表
管路掘削 ハック杓 排出対策型					Y4999 レベル4
	9	m3			
管路掘削 ハック杓 排出対策型					SQ005 00
	9	m3			単第0 -0004 表
人力掘削					Y4999 レベル4
	3	m3			

# 本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
床掘り 土砂 現場制約あり	3	m3			SPK25040015 00 単第0 -0006 表
真砂詰工 ハック杓 排出対策型	1	m3			Y4999 レベル4
真砂詰工(管上20cm迄) B<1.0 ハック杓 排出対策型	1	m3			VSW101028 00 単第0 -0007 表
管路埋戻 ハック杓 排出対策型 流用土	8	m3			Y4999 レベル4
管路埋戻 BH投入・タンパ締固め クローラ型山積0.28m3(平積0.2m3)	8	m3			SQ006 00 単第0 -0009 表
仮置運搬工(流用土) ハック杓 排出対策型 往復,砂質土	8	m3			VSW611028 00 単第0 -0011 表
下層路盤 仕上り厚15cm,施工幅 1.8m未満 再生クシャーン	7	m2			Y4999 レベル4
路盤工 施工幅 1.8m未満 一層仕上り厚15cm	7	m2			SQZ10 00 単第0 -0019 表
上層路盤 仕上り厚12cm,施工幅 1.8m未満 再生粒調碎石	7	m2			Y4999 レベル4

# 本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
路盤工 施工幅 1.8m未満 一層仕上り厚12cm	7	m2			SQZ10 00  単第0 -0021 表
仮復旧 t=3cm,プライムコートなし 締固め後密度 2.35t/m3	7	m2			Y4999 レベル4
アスファルト舗装工(人力) 車道及び路肩 仕上厚3cm 締固め後密度 2.35t/m3	7	m2			SQ000017 00  単第0 -0088 表
殻運搬処理 バックホウ排出対策型 AS	0.4	m3			Y4999 レベル4
残土処理工(舗装版) バックホウ排出対策型 As	0.4	m3			VSW604028 00  単第0 -0029 表
【準備費に含まれる処分費等】 「処分費等」の取扱いによる					#0047
投棄料 アスファルト殻(密度2.35t/m3) (有)トラスト	0.4	m3			F02000 00
発生土処理 バックホウ排出対策型 建設発生土	2	m3			Y4999 レベル4
残土処理工(残土) バックホウ排出対策型 砂質土	2	m3			VSW605028 00  単第0 -0031 表

# 本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など 【準備費に含まれる処分費等】 「処分費等」の取扱いによる	数量	単位	単価	金額	備考
					#0047
処分費(リサイクルプラント) 砂・砂質土・礫質土 (有)広剛産業 福富残土処分場1	2	m3			F01000 00
矢板工 矢板長 L=2.10m	6.4	m			Y4999 レベル4
木矢板設置・撤去工 矢板長 L=2.10m 転用	6.4	m			SQ010 00 単第0 -0033 表
支保工 床掘深さ2.0m未満 W = 1.30m	1	式			Y4999 レベル4
木製支保工設置工 木矢板 床掘深さ 2.0m未満	6.4	m			SQ020 00 単第0 -0089 表
木製支保工撤去工 木矢板 床掘深さ 2.0m未満	6.4	m			SQ020 00 単第0 -0090 表
技術管理費					Z0006
技術管理費	1	式			YZZ06 レベル2

# 本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
技術管理費					YZZ06001 レベル3
	1	式			
土質試験費 CBR試験					YZZ06001002レベル4
	1	式			
CBR試験 室内CBR用試料採取 締め固める土(70kg)					TH003334 00
	1	箇所			
CBR試験 締め固めた土のCBR試験 設計CBR, モールド2個使用					TH003338 00
	1	試料			
共通仮設費率分額 計算情報..... 対象額..... 率.....					対象額合計... 処分費.....
共通仮設費計					
純工事費					
現場管理費 計算情報..... 対象額..... 率.....					対象額合計... 処分費.....
工事原価					

# 本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
一般管理費 計算情報..... 対象額..... 率.....					前払補正.....  対象額合計... 処分費.....
契約保証費 計算情報..... 対象額..... 率.....					当初請対額 当初対象額...
一般管理費計					
** 工事価格計 **					
** 消費税相当額計 ** 計算情報..... 対象額..... 率.....					
** 請負工事費計 **					

# 施工単価表

舗装版切断

SPK25040307

単第0 -0001 表

アスファルト舗装版

アスファルト舗装版厚15cm以下

1

m 当り

機械構成比: 15.05%

労務構成比:

58.43%

材料構成比: 26.52%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

700.44000

代表機材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
コンクリートカッタ バキューム式(超低騒音型)・湿式 切削深20cm級ブレード径 56cm	10.24%		コンクリートカッタ バキューム式(超低騒音型)・湿式 切削深20cm級ブレード径 56cm		MTPC00164 MTPT00164
その他(機械)			その他(機械)		EK009
特殊作業員	19.96%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
土木一般世話役	10.88%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
普通作業員	8.92%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
その他(労務)			その他(労務)		ER009
コンクリートカッタブレード 自走式切断機用 径45cm(18インチ)	22.39%		コンクリートカッタブレード 径18インチ		TTPC00394 TTPT00394
ガソリン,レギュラー スタンド渡し,スタンド給油	2.81%		ガソリンレギュラースタンド		TTPC00014 TTPT00014
その他(材料)			その他(材料)		EZ009















# 施工単価表

土砂等運搬

SPK25040002

単第0 -0008 表

標準 土砂(岩塊・玉石混り土含む)

DID区間有り 距離11.0km以下(8.5km超)

1

m3 当り

機械構成比: 44.67% 労務構成比:

40.44%

材料構成比: 14.89%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

1,808.90000

代表機材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 10t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)	44.67%		ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 10t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)		MTPC00018T1 MTPT00018T1
運転手(一般)	40.44%		運転手(一般)		RTPC00007 RTPT00007
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	14.89%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=1 標準 C=1 土砂(岩塊・玉石混り土含む) E=32 距離11.0km以下(8.5km超)			B=1 バックホウ山積0.8m3(平積0.6m3) D=2 DID区間有り		

# 施工単価表

管路埋戻  
BH投入・タンパ締固め

SQ006  
クローラ型山積0.28m3(平積0.2m3)

単第0 -0009 表

100 m3 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
土木一般世話役	2.5	人			
普通作業員	6.8	人			
機-1_バックホウ運転 クローラ[標準]山積0.28m3(平積0.2m3) 排出ガス対策型2次基準	7.6	時間			単第0-0003 表
タンパ運転(賃料) 質量 60~80kg	3	日			単第0-0010 表
諸雑費	1	式			
*** 合計 ***	100	m3			
*** 単位当たり ***	1	m3			
A=1 BH投入・タンパ締固め C=3 クローラ型山積0.28m3(平積0.2m3)			B=1 D=3	材料別途計上 排出ガス対策型2次基準	







# 施工単価表

ダンプトラック運転  
オンロード・ディーゼル・4 t 積級

S9050

単第0 -0013 表

1

日 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	32.00	L			
運転手(一般)	1.00	人			
ダンプトラック オンロード・ディーゼル 4t積級	1.29	供用日			
タイヤ損耗費 ダンプトラック 4 t (良)	1.29	供用日			
諸雑費	1	式			
*** 単位当たり ***	1	日			
A=2 C=32 E=1 G=0	オンロード・ディーゼル・4 t 積級 軽油消費量 (L / 日) 路面状況：良好 労務単価の夜間等割増率		B=1 D=1.29 F=1	運転労務数量 (人 / 日) 機械損料数量 (供用日 / 日)	

# 施工単価表

積込(ルーズ)

SPK25040007

単第0 -0014 表

土砂

土量50,000m3未満

1

m3 当り

機械構成比: 42.39%

労務構成比:

38.74%

材料構成比:

18.87%

市場単価構成比:

0.00%

標準単価:

240.90000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
バックホウ(クローラ型) 標準型・排2014 山積0.8/平積0.6m3	42.39%		バックホウ(クローラ型) 標準型・排2014 山積0.8/平積0.6m3		MTPC00153 MTPT00153
運転手(特殊)	38.74%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	18.87%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=1 土砂			B=1 土量50,000m3未満		

# 施工単価表

土砂等運搬

SPK25040002

単第0 -0015 表

小規模 土砂(岩塊・玉石混り土含む)

DID区間有り 距離1.0km以下(0.2km超)

1

m3 当り

機械構成比: 26.52% 労務構成比:

61.90%

材料構成比: 11.58%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

953.24000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 4t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)	26.52%		ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 4t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)		MTPC00017T1 MTPT00017T1
運転手(一般)	61.90%		運転手(一般)		RTPC00007 RTPT00007
軽油 パトロール給油, 2~4KL積載車給油	11.58%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=2 小規模 C=1 土砂(岩塊・玉石混り土含む) F=5 距離1.0km以下(0.2km超)			B=5 バックホウ山積0.28m3(平積0.2m3) D=2 DID区間有り		

# 施工単価表

路盤工  
施工幅 1.8m以上

SQZ10  
一層仕上り厚15cm

単第0 -0016 表

100 m2 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
普通作業員	0.710	人			
再生クラッシャー 40~0mm	19.050	m3			
機-28_振動ローラ運転 (賃料) 搭乗式コンバインド型 3.0~4.0t	0.200	日			単第0-0017 表
タンバ運転 (賃料) 質量 60~80kg	0.200	日			単第0-0018 表
諸雑費	1	式			
*** 合計 ***	100	m2			
*** 単位当たり ***	1	m2			
A=2 施工幅 1.8m以上 C=15 一層仕上り厚 (cm)			B=8 RC-40		







# 施工単価表

路盤工  
施工幅 1.8m以上

SQZ10  
一層仕上り厚12cm

単第0 -0020 表

100 m2 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
普通作業員	0.710	人			
再生粒度調整砕石 30~0mm	15.240	m3			
機-28_振動ローラ運転 (賃料) 搭乗式コンバインド型 3.0~4.0t	0.200	日			単第0-0017 表
タンバ運転 (賃料) 質量 60~80kg	0.200	日			単第0-0018 表
諸雑費	1	式			
*** 合計 ***	100	m2			
*** 単位当たり ***	1	m2			
A=2 施工幅 1.8m以上 C=12 一層仕上り厚 (cm)			B=9	再生粒度調整砕石 (RM-30)	



# 施工単価表

路盤工  
施工幅 1.8m以上

SQZ10  
一層仕上り厚10cm

単第0 -0022 表

100 m2 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
普通作業員	0.710	人			
再生粒度調整砕石 30~0mm	12.700	m3			
機-28_振動ローラ運転 (賃料) 搭乗式コンバインド型 3.0~4.0t	0.200	日			単第0-0017 表
タンバ運転 (賃料) 質量 60~80kg	0.200	日			単第0-0018 表
諸雑費	1	式			
*** 合計 ***	100	m2			
*** 単位当たり ***	1	m2			
A=2 施工幅 1.8m以上 C=10 一層仕上り厚 (cm)			B=9	再生粒度調整砕石 (RM-30)	

# 施工単価表

路盤工  
施工幅 1.8m以上

SQZ10  
一層仕上り厚7cm

単第0 -0023 表

100 m2 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
普通作業員	0.710	人			
再生粒度調整砕石 30~0mm	8.890	m3			
機-28_振動ローラ運転 (賃料) 搭乗式コンバインド型 3.0~4.0t	0.200	日			単第0-0017 表
タンバ運転 (賃料) 質量 60~80kg	0.200	日			単第0-0018 表
諸雑費	1	式			
*** 合計 ***	100	m2			
*** 単位当たり ***	1	m2			
A=2 施工幅 1.8m以上 C=7 一層仕上り厚 (cm)			B=9	再生粒度調整砕石 (RM-30)	





# 施工単価表

アスファルト舗装工(人力)

SQ000017

単第0 -0026 表

車道及び路肩 仕上厚3cm

締固め後密度 2.35 t/m<sup>3</sup>

100

m<sup>2</sup> 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
土木一般世話役	0.400	人			
特殊作業員	0.800	人			
普通作業員	1.600	人			
再生加熱アスファルト混合物 再生密粒度(13)	7.544	t			
機-23_振動ローラ運転 (舗装用)ハンドガイド式_0.5~0.6t 普通型	0.400	日			単第0-0027 表
振動コンパクト運転 質量40~60kg	0.800	日			単第0-0028 表
諸雑費	6	%			#09
*** 合計 ***	100	m <sup>2</sup>			
*** 単位当たり ***	1	m <sup>2</sup>			
A=3 仕上厚 (cm) C=1 車道及び路肩 E=1 砂散布なし G=1 普通型			B=8 再生密粒度As混合物 (13) D=3 瀝青材料散布なし F=1 小型車割増なし		













# 施工単価表

土砂等運搬

SPK25040002

単第0 -0032 表

標準 土砂(岩塊・玉石混り土含む)

DID区間有り 距離14.0km以下(11.0km超)

1

m3 当り

機械構成比: 44.67% 労務構成比:

40.44%

材料構成比: 14.89%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

2,217.40000

代表機材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 10t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)	44.67%		ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 10t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)		MTPC00018T1 MTPT00018T1
運転手(一般)	40.44%		運転手(一般)		RTPC00007 RTPT00007
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	14.89%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=1 標準 C=1 土砂(岩塊・玉石混り土含む) E=37 距離14.0km以下(11.0km超)			B=1 バックホウ山積0.8m3(平積0.6m3) D=2 DID区間有り		

# 施工単価表

木矢板設置・撤去工  
矢板長 L=2.10m

SQ010

単第0 -0033 表

100 m 当り

転用

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
矢板損料 L=3.6m , t=4.5cm	18.9	m3			
土木一般世話役	1.00	人			
型わく工	2.08	人			
普通作業員	25.00	人			設置
普通作業員	18.20	人			撤去
諸雑費	1	式			
*** 合計 ***	100	m			
*** 単位当たり ***	1	m			
A=1 設置・撤去 C=1 転用 E=113000000 矢板損料【登録単価CODE】(m3)			B=3 矢板長 L=2.10m D=2 矢板損料(各種)		

# 施工単価表

木矢板設置・撤去工  
矢板長 L=2.40m

SQ010

単第0 -0034 表

100

m 当り

転用

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
矢板損料 L=3.6m , t=4.5cm	21.6	m3			
土木一般世話役	1.00	人			
型わく工	2.08	人			
普通作業員	25.00	人			設置
普通作業員	18.20	人			撤去
諸雑費	1	式			
*** 合計 ***	100	m			
*** 単位当たり ***	1	m			
A=1 設置・撤去 C=1 転用 E=113000000 矢板損料【登録単価CODE】(m3)			B=4 矢板長 L=2.40m D=2 矢板損料(各種)		

# 施工単価表

木矢板設置・撤去工  
矢板長 L=2.70m

SQ010

単第0 -0035 表

転用

100

m 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
矢板損料 L=3.6m , t=4.5cm	24.3	m3			
土木一般世話役	1.00	人			
型わく工	2.08	人			
普通作業員	30.20	人			設置
普通作業員	21.84	人			撤去
諸雑費	1	式			
*** 合計 ***	100	m			
*** 単位当たり ***	1	m			
A=1 設置・撤去 C=1 転用 E=113000000 矢板損料【登録単価CODE】(m3)			B=5 矢板長 L=2.70m D=2 矢板損料(各種)		

# 施工単価表

木製支保工設置工  
木矢板

SQ020  
床掘深さ 2.0m未満

単第0 -0036 表

100 m 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
腹起し材損料 (太鼓落) L = 3m	6.5	m3			
切梁材損料 (丸太) L = 3m	1.1	m3			
型わく工	3.05	人			
普通作業員	4.46	人			
諸雑費	3	%			#09
*** 合計 ***	100	m			
*** 単位当たり ***	1	m			
A=6.5 腹起し材使用量 C=1 設置 E=1 転用			B=1.1 切梁材使用量 D=1 木矢板 2.0m未満		



# 施工単価表

木製支保工設置工  
木矢板

SQ020  
床掘深さ 2.0m以上

単第0 -0038 表

100 m 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
腹起し材損料 (太鼓落) L = 3m	13.0	m3			
切梁材損料 (丸太) L = 3m	2.2	m3			
型わく工	5.12	人			
普通作業員	9.54	人			
諸雑費	3	%			#09
*** 合計 ***	100	m			
*** 単位当たり ***	1	m			
A=13 腹起し材使用量 C=1 設置 E=1 転用			B=2.2 切梁材使用量 D=2 木矢板	2.0m以上	



# 施工単価表

木製支保工設置工  
木矢板

SQ020  
床掘深さ 2.0m以上

単第0 -0040 表

100 m 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
腹起し材損料 (太鼓落) L = 3m	13.0	m3			
切梁材損料 (丸太) L = 3m	1.4	m3			
型わく工	5.12	人			
普通作業員	9.54	人			
諸雑費	3	%			#09
*** 合計 ***	100	m			
*** 単位当たり ***	1	m			
A=13 腹起し材使用量 C=1 設置 E=1 転用			B=1.4 切梁材使用量 D=2 木矢板 2.0m以上		



# 施工単価表

舗装本復旧工【仮復旧部】As(2.35)  
再生密粒13、t=5cm

VSW2020283

単第0 -0042 表

再生粗粒20、t=5cm

100 m2 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
表層(車道・路肩部) 平均幅員1.4m以上3.0m以下 1層当り平均仕上厚50mm	100	m2			単第0-0043 表
基層(車道・路肩部) 平均幅員1.4m以上3.0m以下 1層当り平均仕上厚50mm	100	m2			単第0-0044 表
不陸整正工 施工幅 1.8m以上	100	m2			単第0-0045 表
舗装版取壊し積込工 舗装厚 0cm超え10cm以下	100	m2			単第0-0002 表
発生土運搬費(2t積、4t積) 運搬距離13.1km DID区間有り 4t積 As塊・Co塊(無筋)	3	m3			単第0-0030 表
管路掘削 クローラ型山積0.28m3(平積0.2m3)	7	m3			単第0-0046 表
発生土運搬費(2t積、4t積) 運搬距離0.5km DID区間有り 4t積 土砂	7	m3			単第0-0012 表
積込(ルーズ) 土砂 土量50,000m3未満	7	m3			単第0-0014 表
土砂等運搬 標準 土砂(岩塊・玉石混り土含む) DID区間有り 距離14.0km以下(11.0km超)	7	m3			単第0-0032 表
*** 合計 ***	100	m2			
*** 単位当たり ***	1	m2			

# 施工単価表

表層(車道・路肩部)  
平均幅員1.4m以上3.0m以下

SPK25040244

単第0 -0043 表

1層当り平均仕上厚50mm

1

m2 当り

機械構成比: 1.70% 労務構成比: 15.67%

材料構成比: 82.63%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

1,827.2000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
<賃>アスファルトフィニッシャ(ホイール型) 舗装幅1.4~3.0m 排出ガス対策型(第1,2次基準値)低騒音	1.09%		アスファルトフィニッシャ [ホイール型] 舗装幅1.4~3.0m		KTPC00059 KTPT00059
<賃>振動ローラ(搭乗・コンバインド式) 質量3~4t 排出ガス対策型(第1,2次基準値)低騒音	0.22%		振動ローラ(舗装用) [搭乗式コンバインド型] 質量3~4t		KTPC00009 KTPT00009
<賃>タイヤローラ 質量3~4t 排出ガス対策型(第1,2次基準値)低騒音	0.20%		タイヤローラ 質量3~4t		KTPC00057 KTPT00057
その他(機械)			その他(機械)		EK009
普通作業員	5.35%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
運転手(特殊)	3.65%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
特殊作業員	3.57%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
土木一般世話役	1.30%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
その他(労務)			その他(労務)		ER009

# 施工単価表

表層(車道・路肩部)  
平均幅員1.4m以上3.0m以下

SPK25040244

単第0 -0043 表

1層当り平均仕上厚50mm

1

m2 当り

機械構成比: 1.70% 労務構成比: 15.67%

材料構成比: 82.63%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

1,827.2000

代表機材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
再生加熱アスファルト混合物 再生密粒度(13)	79.88%		密粒度As混合物(20) [標準数量]平均仕上り厚50mm		TTPC00024 TTPT00284
アスファルト乳剤(JISK2208) アスファルト乳剤(浸透用) PK-4タックコート用	2.42%		アスファルト乳剤(JISK2208) アスファルト乳剤(浸透用) PK-4タックコート用		TTPC00027 TTPT00027
軽油 パトロール給油, 2~4KL積載車給油	0.30%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
その他(材料)			その他(材料)		EZ009
積算単価			積算単価		E9999
A=3 平均幅員1.4m以上3.0m以下 C=7 再生密粒度アスファルト混合物(13) G=1 - I=1 -(全ての費用)			B=50 1層当り平均仕上り厚(mm) E=1 PK-4 H=1 -		
【アスファルト混合物単価】 1層当り平均仕上り厚(mm)/1000*(アスファルト混合物単価(円)+各種割増合計値) 1層当り平均仕上り厚(mm):50.000(mm)					

# 施工単価表

基層(車道・路肩部)  
平均幅員1.4m以上3.0m以下

SPK25040242

単第0 -0044 表

1層当り平均仕上厚50mm

1

m2 当り

機械構成比: 1.89% 労務構成比: 17.50%

材料構成比: 80.61%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

1,636.10000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
<賃>アスファルトフィニッシャ(ホイール型) 舗装幅1.4~3.0m 排出ガス対策型(第1,2次基準値)低騒音	1.21%		アスファルトフィニッシャ [ホイール型] 舗装幅1.4~3.0m		KTPC00059 KTPT00059
<賃>振動ローラ(搭乗・コンバインド式) 質量3~4t 排出ガス対策型(第1,2次基準値)低騒音	0.24%		振動ローラ(舗装用) [搭乗式コンバインド型] 質量3~4t		KTPC00009 KTPT00009
<賃>タイヤローラ 質量3~4t 排出ガス対策型(第1,2次基準値)低騒音	0.22%		タイヤローラ 質量3~4t		KTPC00057 KTPT00057
その他(機械)			その他(機械)		EK009
普通作業員	5.97%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
運転手(特殊)	4.08%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
特殊作業員	3.99%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
土木一般世話役	1.45%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
その他(労務)			その他(労務)		ER009

# 施工単価表

基層(車道・路肩部)  
平均幅員1.4m以上3.0m以下

SPK25040242

単第0 -0044 表

1層当り平均仕上厚50mm

1

m2 当り

機械構成比: 1.89% 労務構成比: 17.50%

材料構成比: 80.61%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

1,636.1000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
再生加熱アスファルト混合物 再生粗粒度(20)	72.31%		再生粗粒度As混合物(20) [標準数量]平均仕上り厚50mm		TTPC00023 TTPT00281
アスファルト乳剤(JISK2208) アスファルト乳剤(浸透用) PK-3プライムコート用	7.93%		アスファルト乳剤(JISK2208) アスファルト乳剤(浸透用) PK-3プライムコート用		TTPC00026 TTPT00026
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	0.33%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
その他(材料)			その他(材料)		EZ009
積算単価			積算単価		E9999
A=3 平均幅員1.4m以上3.0m以下 C=8 再生粗粒度アスコン(20) G=1 - I=1 -(全ての費用)			B=50 1層当り平均仕上り厚(mm) E=2 PK-3 H=1 -		
【アスファルト混合物単価】 1層当り平均仕上り厚(mm)/1000*(アスファルト混合物単価(円)+各種割増合計値) 1層当り平均仕上り厚(mm):50.000(mm)					







# 施工単価表

区画線設置(溶融式)

SDT00001

単第0 -0048 表

実線 15cm

1000

m

当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
昼間_溶融式(手動)【手間のみ】 実線_15cm 時間的制約なし	1,000.000	m			
トラフィックペイント(JISK5665_3種1号) 溶融型(紛体状)ガラスビーズ含有量15~18% 白	598.500	kg			
ガラスビーズ(JISR3301_1号) 粒度0.106~0.850mm	26.250	kg			
プライマー トラフィックペイント接着用	26.250	kg			
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	42.000	L			
諸雑費	1	式			
*** 合計 ***	1,000	m			
*** 単位当たり ***	1	m			
A=1 昼間施工 C=1 実線_15cm E=1 アスファルトに設置の場合			B=1 白色 D=1 塗布厚t=1.5mm F=1 時間的制約なし		
G=1 - I=1 -			H=1 - J=1 -(全ての費用)		



# 施工単価表

区画線設置(溶融式)  
実線 20cm

SDT00001

単第0 -0049 表

1000 m 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
昼間_溶融式(手動)【手間のみ】 実線_20cm 時間的制約なし	1,000.000	m			
トラフィックペイント(JISK5665_3種1号) 溶融型(紛体状)ガラスビーズ含有量15~18% 白	798.000	kg			
ガラスビーズ(JISR3301_1号) 粒度0.106~0.850mm	34.650	kg			
プライマー トラフィックペイント接着用	34.650	kg			
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	45.150	L			
諸雑費	1	式			
*** 合計 ***	1,000	m			
*** 単位当たり ***	1	m			
A=1 昼間施工 C=2 実線_20cm E=1 アスファルトに設置の場合			B=1 白色 D=1 塗布厚t=1.5mm F=1 時間的制約なし		
G=1 - I=1 -			H=1 - J=1 -(全ての費用)		



# 施工単価表

舗装本復旧工【仮復旧部】

V000000100

単第0 -0050 表

再生密粒13、t=5cm

As(2.35)

100

m2

当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
表層(車道・路肩部) 平均幅員1.4m以上3.0m以下 1層当り平均仕上厚50mm	100	m2			単第0-0051 表
不陸整正工 施工幅 1.8m以上	100	m2			単第0-0045 表
舗装版取壊し積込工 舗装厚 0cm超え10cm以下	100	m2			単第0-0002 表
発生土運搬費(2t積、4t積) 運搬距離13.1km DID区間有り 4t積 As塊・Co塊(無筋)	3	m3			単第0-0030 表
管路掘削 クローラ型山積0.28m3(平積0.2m3)	2	m3			単第0-0046 表
発生土運搬費(2t積、4t積) 運搬距離0.5km DID区間有り 4t積 土砂	2	m3			単第0-0012 表
積込(ルーズ) 土砂 土量50,000m3未満	2	m3			単第0-0014 表
土砂等運搬 標準 土砂(岩塊・玉石混り土含む) DID区間有り 距離14.0km以下(11.0km超)	2	m3			単第0-0032 表
*** 合計 ***	100	m2			
*** 単位当たり ***	1	m2			

# 施工単価表

表層(車道・路肩部)  
平均幅員1.4m以上3.0m以下

SPK25040244

単第0 -0051 表

1層当り平均仕上厚50mm

1

m2 当り

機械構成比: 1.62% 労務構成比: 14.97%

材料構成比: 83.41%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

1,912.70000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
<賃>アスファルトフィニッシャ(ホイール型) 舗装幅1.4~3.0m 排出ガス対策型(第1,2次基準値)低騒音	1.04%		アスファルトフィニッシャ [ホイール型] 舗装幅1.4~3.0m		KTPC00059 KTPT00059
<賃>振動ローラ(搭乗・コンバインド式) 質量3~4t 排出ガス対策型(第1,2次基準値)低騒音	0.21%		振動ローラ(舗装用) [搭乗式コンバインド型] 質量3~4t		KTPC00009 KTPT00009
<賃>タイヤローラ 質量3~4t 排出ガス対策型(第1,2次基準値)低騒音	0.19%		タイヤローラ 質量3~4t		KTPC00057 KTPT00057
その他(機械)			その他(機械)		EK009
普通作業員	5.11%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
運転手(特殊)	3.49%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
特殊作業員	3.41%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
土木一般世話役	1.24%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
その他(労務)			その他(労務)		ER009

# 施工単価表

表層(車道・路肩部)  
平均幅員1.4m以上3.0m以下

SPK25040244

単第0 -0051 表

1層当り平均仕上厚50mm

1

m2 当り

機械構成比: 1.62% 労務構成比: 14.97%

材料構成比: 83.41%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

1,912.70000

代表機材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
再生加熱アスファルト混合物 再生密粒度(13)	76.32%		密粒度As混合物(20) [標準数量]平均仕上り厚50mm		TTPC00024 TTPT00284
アスファルト乳剤(JISK2208) アスファルト乳剤(浸透用) PK-3プライムコート用	6.78%		アスファルト乳剤(JISK2208) アスファルト乳剤(浸透用) PK-3プライムコート用		TTPC00026 TTPT00026
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	0.28%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
その他(材料)			その他(材料)		EZ009
積算単価			積算単価		E9999
A=3 平均幅員1.4m以上3.0m以下 C=7 再生密粒度アスファルト混合物(13) G=1 - I=1 -(全ての費用)			B=50 1層当り平均仕上り厚(mm) E=2 PK-3 H=1 -		
【アスファルト混合物単価】 1層当り平均仕上り厚(mm)/1000*(アスファルト混合物単価(円)+各種割増合計値) 1層当り平均仕上り厚(mm):50.000(mm)					































# 施工単価表

殻運搬

SPK25040155

単第0 -0067 表

Co(無筋)構造物とりこわし

DID区間有り 運搬距離5.7km以下(3.3km超)

1

m3 当り

機械構成比: 40.77% 労務構成比:

44.82% 材料構成比: 14.41% 市場単価構成比: 0.00%

標準単価: 1,527.20000

代表機材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 10t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)	40.77%		ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 10t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)		MTPC00018T1 MTPT00018T1
運転手(一般)	44.82%		運転手(一般)		RTPC00007 RTPT00007
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	14.41%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=1 Co(無筋)構造物とりこわし C=2 DID区間有り E=1 -(全ての費用)			B=1 機械積込 D=25 運搬距離5.7km以下(3.3km超)		

# 施工単価表

仕切弁BOX設置工【材工共】

VSB1000753

単第0 -0068 表

口径 75,土被り 1.20,高さ 1.05

東広島市型

1

箇所 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
仕切弁用 鉄蓋 250 円形 1号 東広島市形	1	組			
レジコンクリート製マンホール 250 調整リング H=50	1	個			
レジコンクリート製マンホール 250 上部壁 H=150	1	個			
レジコンクリート製マンホール 250 中間壁 H=200	2	個			
レジコンクリート製マンホール 350- 250 下部壁 H=300	1	個			
レジコンクリート製マンホール 550 底板 H=40	1	個			
普通作業員	0.12	人			
*** 単位当たり ***	1	箇所			

# 施工単価表

仕切弁BOX設置工【材工共】

VSB1001003

単第0 -0069 表

口径 100, 土被り 1.85, 高さ 1.70

継ぎ足しキL=1000含む 東広島市型

1

箇所 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
仕切弁・空気弁・消火栓等材料 継ぎ足しキ(反射板付 30) L=1,000	1	本			
仕切弁用 鉄蓋 250 円形 1号 東広島市形	1	組			
レジンコンクリート製マンホール 250 調整リング H=100	1	個			
レジンコンクリート製マンホール 250 上部壁 H=150	1	個			
レジンコンクリート製マンホール 250 中間壁 H=200	2	個			
レジンコンクリート製マンホール 250 中間壁 H=300	2	個			
レジンコンクリート製マンホール 350- 250 下部壁 H=300	1	個			
レジンコンクリート製マンホール 550 底板 H=40	1	個			
普通作業員	0.14	人			0.06+0.01×8
*** 単位当たり ***	1	箇所			





# 施工単価表

仕切弁BOX設置工【材工共】

V00000300

単第0 -0072 表

口径 300, 土被り 1.35, 高さ 0.95

継ぎ足しキ-L=500含む 東広島市型

1

箇所 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
仕切弁・空気弁・消火栓等材料 継ぎ足しキ(反射板付 30) L=500	1	本			
仕切弁用 鉄蓋 250 円形 1号 東広島市形	1	組			
レジコンクリート製マンホール 250 調整リング H=50	1	個			
レジコンクリート製マンホール 250 上部壁 H=150	1	個			
レジコンクリート製マンホール 250 中間壁 H=300	1	個			
レジコンクリート製マンホール 350- 250 下部壁 H=300	1	個			
レジコンクリート製マンホール 550 底板 H=40	1	個			
普通作業員	0.11	人			
*** 単位当たり ***	1	箇所			





















# 施工単価表

区画線設置(溶融式)  
実線 15cm

SDT00001

単第0 -0083 表

1000 m 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
昼間_溶融式(手動)【手間のみ】 実線_15cm 時間的制約なし	1,000.000	m			
路面標示用塗料(JISK5665_3種1号) 溶融,鉛・クロムフリー ガラスビーズ含有量15~18% 黄	598.500	kg			
ガラスビーズ(JISR3301_1号) 粒度0.106~0.850mm	26.250	kg			
プライマー トラフィックペイント接着用	26.250	kg			
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	42.000	L			
諸雑費	1	式			
*** 合計 ***	1,000	m			
*** 単位当たり ***	1	m			
A=1 昼間施工 C=1 実線_15cm E=1 アスファルトに設置の場合			B=2 黄色 D=1 塗布厚t=1.5mm F=1 時間的制約なし		
G=1 - I=1 -			H=1 - J=1 -(全ての費用)		











# 施工単価表

アスファルト舗装工(人力)

SQ000017

単第0 -0088 表

車道及び路肩 仕上厚3cm

締固め後密度 2.35 t/m3

100

m2 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
土木一般世話役	0.400	人			
特殊作業員	0.800	人			
普通作業員	1.600	人			
再生加熱アスファルト混合物 再生密粒度(13)	7.544	t			
機-23_振動ローラ運転 (舗装用)ハンドガイド式_0.5~0.6t 普通型	0.400	日			単第0-0027 表
振動コンパクト運転 質量40~60kg	0.800	日			単第0-0028 表
諸雑費	6	%			#09
*** 合計 ***	100	m2			
*** 単位当たり ***	1	m2			
A=3 仕上厚 (cm) C=1 車道及び路肩 E=1 砂散布なし G=1 普通型			B=8 再生密粒度As混合物 (13) D=3 瀝青材料散布なし F=2 小型車割増あり		



# 施工単価表

木製支保工設置工  
木矢板

SQ020  
床掘深さ 2.0m未満

単第0 -0089 表

100 m 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
腹起し材損料 (太鼓落) L = 3m	6.5	m3			
切梁材損料 (丸太) L = 3m	0.70	m3			
型わく工	3.05	人			
普通作業員	4.46	人			
諸雑費	3	%			#09
*** 合計 ***	100	m			
*** 単位当たり ***	1	m			
A=6.5 腹起し材使用量 C=1 設置 E=1 転用			B=0.7 切梁材使用量 D=1 木矢板	2.0m未満	



令和7年度 管路更新（耐震化）事業  
八本松東三丁目地区ほか配水管耐震継手補強工事

数 量 計 算 書

広島県水道広域連合企業団  
東広島事務所

土工

土工

土工延長集計表

種 別	規 格	算 式	箇所計	計上値
土工延長				
W=1.9m ①車-A4-300-1.16	矢板長2.03m 管天20cm真砂土入替	( 2m × 12箇所 )+ (2.6m × 1箇所 )+ (3.6m × 1箇所)	30.2	
		( 2m × 25箇所 )+ (2.2m × 2箇所 )+ (3.2m × 2箇所)	60.8	m 91.0
W=1.9m ②車-A4-300-1.54	矢板長2.41m 管天20cm真砂土入替	( 2m × 1箇所 )	2.0	m 2.0
W=1.9m ③車-A4-300-1.79	矢板長2.66m 管天20cm真砂土入替	( 2m × 2箇所 )	4.0	m 4.0
W=1.9m ④車-A1-300-1.23	矢板長2.1m 管天20cm真砂土入替	( 2m × 1箇所 )	2.0	m 2.0
W=1.9m ⑤車-A1-300-1.35	矢板長2.22m 管天20cm真砂土入替	( 2m × 3箇所 )+ (3m × 1箇所 )	9.0	m 9.0
W=1.9m ⑥車-A1-300-1.54	矢板長2.41m 管天20cm真砂土入替	( 2m × 1箇所 )	2.0	m 2.0
W=0.9m 車-A4-75-1.20	管天20cm真砂土入替	( 2m × 1箇所 )	2.0	m 2.0
W=1.3m ⑦車-A1-100-1.85	矢板長2.37m 管天20cm真砂土入替	( 2m × 1箇所 )	2.0	m 2.0
W=1.3m ⑧車-A1-100-1.74	矢板長2.26m 管天20cm真砂土入替	( 2m × 1箇所 )	2.0	m 2.0
			合計	116.0
準備工 試掘工				
W=1.3m 車-A1-100-1.73試掘工	矢板長1.93m 管天20cm真砂土入替	( 5.1m × 1箇所 )	5.1	m 5.1
			合計	5.1
矢板工				
W=1.9m 床掘深さ2.0m未満 ①土留矢板工	木製矢板工 L=2.1m 木製支保工(2m未満)	30.2m + 60.8m + (1.9m × 43箇所)	172.7	m 172.7
W=1.9m 床掘深さ2.0m未満 ④土留矢板工	木製矢板工 L=2.1m 木製支保工(2m未満)	2.0m + (1.9m × 1箇所)	3.9	m 3.9
		木矢板設置・撤去工 L=2.10m	合計	176.6
W=1.9m 床掘深さ2.0m以上 ⑤土留矢板工	木製矢板工 L=2.4m 木製支保工(2m以上)	9.0m + (1.9m × 4箇所)	16.6	m 16.6
W=1.3m 床掘深さ2.0m以上 ⑦⑧土留矢板工	木製矢板工 L=2.4m 木製支保工(2m以上)	2.0m + 2.0m + (1.3m × 2箇所)	6.6	m 6.6
		木矢板設置・撤去工 L=2.40m	合計	23.2
W=1.9m 床掘深さ2.0m以上 ②③土留矢板工	木製矢板工 L=2.7m 木製支保工(2m以上)	2.0m + 4.0m + (1.9m × 3箇所)	11.7	m 11.7
W=1.9m 床掘深さ2.0m以上 ⑥土留矢板工	矢板長2.7m 木製支保工(2m以上)	2.0m + (1.9m × 1箇所)	3.9	m 3.9
		木矢板設置・撤去工 L=2.70m	合計	15.6
支保工				
W=1.9m 床掘深さ2.0m未満 ①土留矢板工	木製矢板工 L=2.1m 木製支保工(2m未満)	30.2m + 60.8m + (1.9m × 43箇所)	172.7	m 172.7
W=1.9m 床掘深さ2.0m未満 ④土留矢板工	木製矢板工 L=2.1m 木製支保工(2m未満)	2.0m + (1.9m × 1箇所)	3.9	m 3.9
		床掘深さ2.0m未満 W=1.9m	合計	176.6
W=1.9m 床掘深さ2.0m以上 ⑤土留矢板工	木製矢板工 L=2.4m 木製支保工(2m以上)	9.0m + (1.9m × 4箇所)	16.6	m 16.6
W=1.9m 床掘深さ2.0m以上 ⑥土留矢板工	矢板長2.7m 木製支保工(2m以上)	2.0m + (1.9m × 1箇所)	3.9	m 3.9
W=1.9m 床掘深さ2.0m以上 ②③土留矢板工	木製矢板工 L=2.7m 木製支保工(2m以上)	2.0m + 4.0m + (1.9m × 3箇所)	11.7	m 11.7
		床掘深さ2.0m以上 W=1.9m	合計	32.2
W=1.3m 床掘深さ2.0m以上 ⑦⑧土留矢板工	木製矢板工 L=2.4m 木製支保工(2m以上)	2.0m + 2.0m + (1.3m × 2箇所)	6.6	m 6.6
		床掘深さ2.0m以上 W=1.3m	合計	6.6
矢板工				
W=1.3m 床掘深さ2.0m未満 土留矢板工 試掘工	矢板長2.1m 土留支保工(2m以上)	5.1m + (1.3m × 1箇所)	6.4	m 6.4
		木矢板設置・撤去工 L=2.10m	合計	6.4
支保工				
W=1.3m 床掘深さ2.0m未満 土留矢板工 試掘工	矢板長2.1m 土留支保工(2m以上)	5.1m + (1.3m × 1箇所)	6.4	m 6.4
		床掘深さ2.0m未満 W=1.3m	合計	6.4









土工 5-5-10-15

路面復旧工集計表

項 目		タイプ別数量				単位	合計	設計数量
名 称	形状寸法	車-A4-300-1.16 L=91.0m 数 量	車-A4-300-1.54 L=2.0m 数 量	車-A4-300-1.79 L=4.0m 数 量	車-A4-75-1.20 L=2.0m 数 量			
切 断	As t=10cm以下	(246.920+9.412+0.2) × 2 + (2.1×2) =517.3m				m	517.3	520
本 復 旧	機械 車道 5-5-10-15 仮復旧部	土工集計表より 172.9m <sup>2</sup> AS殻 0.03m×172.9m <sup>2</sup> =5.2m <sup>3</sup> 残土 0.07m×172.9m <sup>2</sup> =12.1m <sup>3</sup>	土工集計表より 3.8m <sup>2</sup> AS殻 0.03m×3.8m <sup>2</sup> =0.1m <sup>3</sup> 残土 0.07m×3.8m <sup>2</sup> =0.3m <sup>3</sup>	土工集計表より 7.6m <sup>2</sup> AS殻 0.03m×7.6m <sup>2</sup> =0.2m <sup>3</sup> 残土 0.07m×7.6m <sup>2</sup> =0.5m <sup>3</sup>	土工集計表より 1.8m <sup>2</sup> AS殻 0.03m×1.8m <sup>2</sup> =0.1m <sup>3</sup> 残土 0.07m×1.8m <sup>2</sup> =0.1m <sup>3</sup>	m <sup>2</sup> m <sup>3</sup> m <sup>3</sup>	186.1 5.60 13.0	186 6 13
	機械 車道 5-5-10-15 影響部	全体舗装本復旧面積 (246.920+9.412+0.2) m×2.1m=538.7m <sup>2</sup> 影響部 538.7-186.1=352.6m <sup>2</sup> AS殻 352.6m <sup>2</sup> ×0.1m=35.3m <sup>3</sup>				m <sup>2</sup> m <sup>3</sup>	352.6 35.3	353 35
区画線復旧工	実線(白色 W=15cm)	240.920+9.412+0.2=256.532				m	256.5	257
	実線(白色 W=20cm)	240.920+9.412+0.2=256.532				m	256.5	257



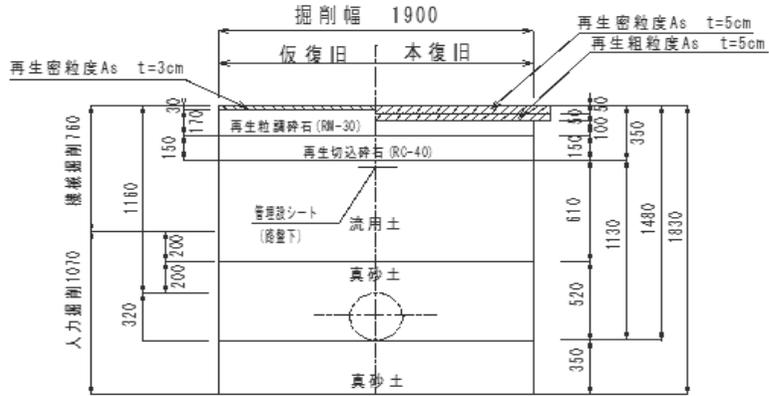
土工 5-10-15

路面復旧工集計表

項 目						
名 称	形状寸法	試掘工 車-A1-100-1.73 L=5.1m	単位	小計	合計	設計数量
		数 量				
	As t=5cm以下	$(5.1+0.2) \times 2 + (1.3+0.2) \times 2 = 13.6m$	m	13.6	55.6	56
	機械	土工集計表より				
	車道 5-10-15	6.6m <sup>2</sup>	m <sup>2</sup>	6.6	36.5	37
	仮復旧部	AS殻 0.03m × 6.6m <sup>2</sup> = 0.2m <sup>3</sup> 残土 0.02m × 6.6m <sup>2</sup> = 0.1m <sup>3</sup>	m <sup>3</sup> m <sup>3</sup>	0.2 0.1	1.1 0.8	1 1
	機械	全体舗装本復旧面積 (5.1+0.2) m × 1.5m = 8.0m <sup>2</sup>				
	車道 5-10-15	8.0m <sup>2</sup> - 6.6m <sup>2</sup> = 1.4m <sup>2</sup>	m <sup>2</sup>	1.4	11.2	11
	影響部	AS殻 1.4m <sup>2</sup> × 0.05m = 0.07m <sup>3</sup>	m <sup>3</sup>	0.07	0.57	1

# 土工単位数数量計算書 (1m当り)

車-A4-300-1.16



工種	細別	1 m 当り		単位
		算式	数量	
舗装切断	As t=10cm	土工集計表にて別途計上		- m
舗装版取壊	As t=10cm	1.90 × 1.00	1.90	m <sup>2</sup>
機械掘削	レキ質土	$(1.9 \times 1.0 \times 0.76) - (1.9 \times 1.0 \times 0.10)$	1.25	m <sup>3</sup>
人力掘削	レキ質土	$(1.9 \times 1.0 \times 1.07) - (\pi \times 0.32 \times 0.32 / 4) \times 1$	1.95	m <sup>3</sup>
真砂詰	管天20cm 真砂土入替	$(1.9 \times 1.0 \times 0.52) - ((\pi \times 0.32 \times 0.32 / 4) \times 1) + (1.9 \times 1.0 \times 0.35)$	1.57	m <sup>3</sup>
埋戻	流用土	1.90 × 1.00 × 0.61	1.16	m <sup>3</sup>
路盤	再生切込碎石RC-40 t=15cm	1.90 × 1.00	1.90	m <sup>2</sup>
〃	再生粒調碎石RM-30 t=17cm	1.90 × 1.00	1.90	m <sup>2</sup>
仮復旧	再生密粒 As t=3cm	1.90 × 1.00	1.90	m <sup>2</sup>
残土処分	Asガラ	1.90 × 1.00 × 0.10	0.19	m <sup>3</sup>
〃	土砂	$(1.25 + 1.95) - (1.16 / 0.9)$	1.91	m <sup>3</sup>
路面復旧工		別途計上		



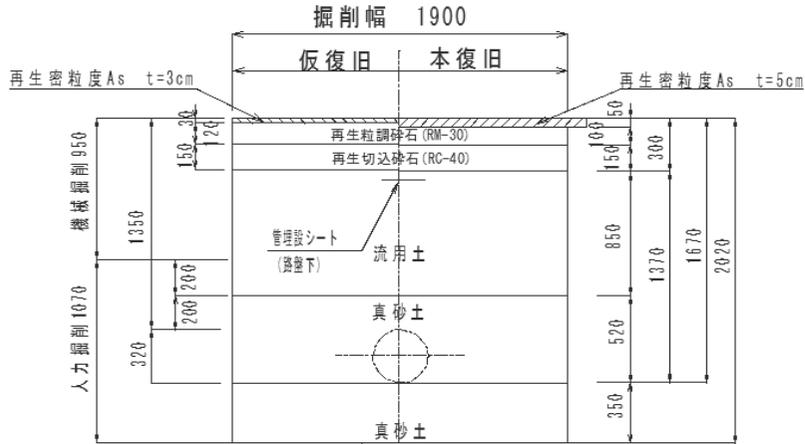






# 土工単位数計算書 (1m当り)

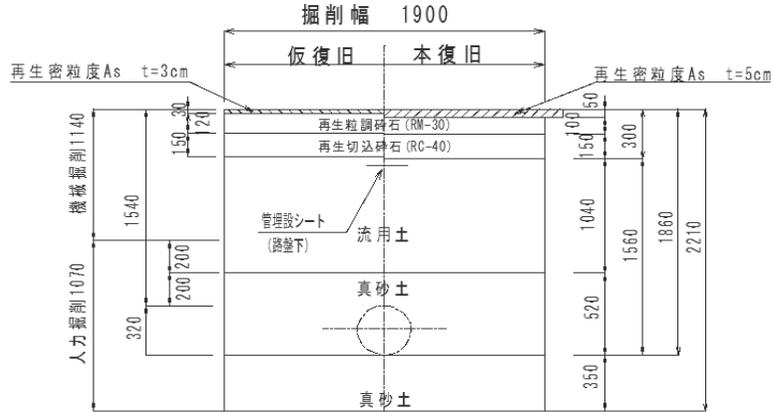
車-A1-300-1.35



工種	細別	1 m 当り		単位
		算式	数量	
舗装切断	As t=5cm	土工集計表にて別途計上		- m
舗装版取壊	As t=5cm	1.90 × 1.000	1.90	m2
機械掘削	レキ質土	$(1.9 \times 1.0 \times 0.95) - (1.9 \times 1.0 \times 0.05)$	1.71	m3
人力掘削	レキ質土	$(1.9 \times 1.0 \times 1.07) - (\pi \times 0.32 \times 0.32 / 4) \times 1$	1.95	m3
真砂詰	管天20cm 真砂土入替	$(1.9 \times 1.0 \times 0.52) - ((\pi \times 0.32 \times 0.32 / 4) \times 1.0) + (1.9 \times 1.0 \times 0.35)$	1.57	m3
埋戻	流用土	1.90 × 1.000 × 0.85	1.62	m3
路盤	再生切込碎石RC-40 t=15cm	1.90 × 1.000	1.90	m2
〃	再生粒調碎石RM-30 t=12cm	1.90 × 1.000	1.90	m2
仮復旧	再生密粒 As t=3cm	1.90 × 1.000	1.90	m2
残土処分	Asガラ	1.90 × 1.000 × 0.05	0.10	m3
〃	土砂	$(1.71 + 1.95) - (1.62 / 0.9)$	1.86	m3
路面復旧工		別途計上		

# 土工単位数計算書 (1m当り)

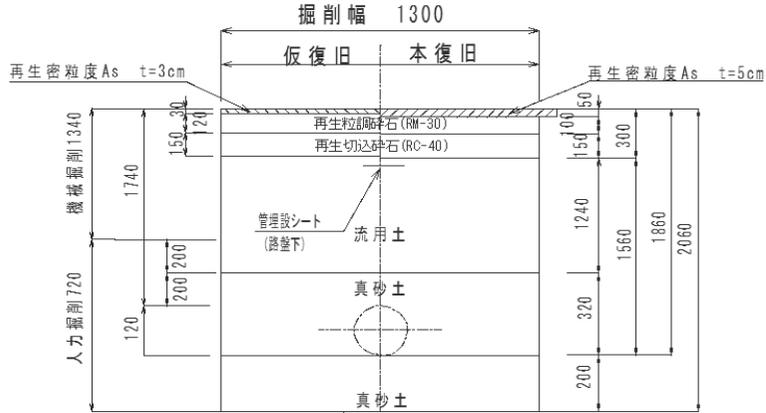
車-A1-300-1.54



工種	細別	1 m 当り		単位
		算式	数量	
舗装切断	As t=5cm	土工集計表にて別途計上		- m
舗装版取壊	As t=5cm	1.90 × 1.000	1.90	m <sup>2</sup>
機械掘削	レキ質土	$(1.9 \times 1.0 \times 1.14) - (1.9 \times 1.0 \times 0.05)$	2.07	m <sup>3</sup>
人力掘削	レキ質土	$(1.9 \times 1.0 \times 1.07) - (\pi \times 0.32 \times 0.32 / 4) \times 1$	1.95	m <sup>3</sup>
真砂詰	管天20cm 真砂土入替	$(1.9 \times 1.0 \times 0.52) - ((\pi \times 0.32 \times 0.32 / 4) \times 1.0) + (1.9 \times 1.0 \times 0.35)$	1.57	m <sup>3</sup>
埋戻	流用土	1.90 × 1.000 × 1.04	1.98	m <sup>3</sup>
路盤	再生切込碎石RC-40 t=15cm	1.90 × 1.000	1.90	m <sup>2</sup>
〃	再生粒調碎石RM-30 t=12cm	1.90 × 1.000	1.90	m <sup>2</sup>
仮復旧	再生密粒 As t=3cm	1.90 × 1.000	1.90	m <sup>2</sup>
残土処分	Asガラ	1.90 × 1.000 × 0.05	0.10	m <sup>3</sup>
〃	土砂	$(2.07 + 1.95) - (1.98 / 0.9)$	1.82	m <sup>3</sup>
路面復旧工		別途計上		

# 土工単位数計算書 (1m当り)

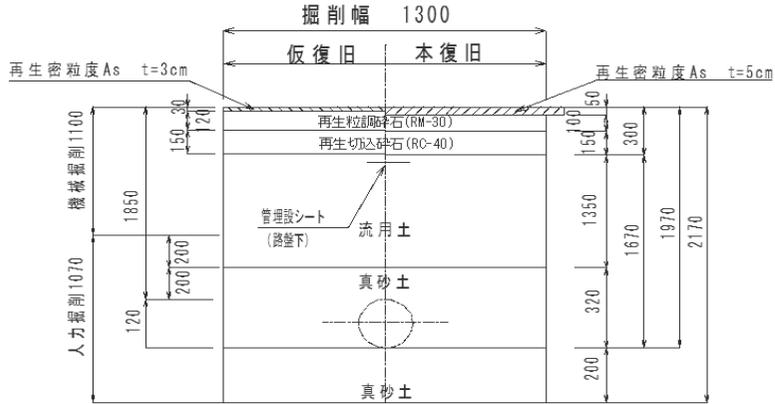
車-A1-100-1.74



工種	細別	1 m 当り		単位
		算式	数量	
舗装切断	As t=5cm	土工集計表にて別途計上		- m
舗装版取壊	As t=5cm	1.30 × 1.000	1.30	m <sup>2</sup>
機械掘削	レキ質土	$(1.3 \times 1.0 \times 1.34) - (1.3 \times 1.0 \times 0.05)$	1.68	m <sup>3</sup>
人力掘削	レキ質土	$(1.3 \times 1.0 \times 0.72) - (\pi \times 0.12 \times 0.12 / 4) \times 1$	0.92	m <sup>3</sup>
真砂詰	管天20cm 真砂土入替	$(1.3 \times 1.0 \times 0.32) - ((\pi \times 0.12 \times 0.12 / 4) \times 1.0) + (1.3 \times 1.0 \times 0.2)$	0.66	m <sup>3</sup>
埋戻	流用土	1.30 × 1.000 × 1.24	1.61	m <sup>3</sup>
路盤	再生切込碎石RC-40 t=15cm	1.30 × 1.000	1.30	m <sup>2</sup>
〃	再生粒調碎石RM-30 t=12cm	1.30 × 1.000	1.30	m <sup>2</sup>
仮復旧	再生密粒 As t=3cm	1.30 × 1.000	1.30	m <sup>2</sup>
残土処分	Asガラ	1.30 × 1.000 × 0.05	0.07	m <sup>3</sup>
〃	土砂	$(1.68 + 0.92) - (1.61 / 0.9)$	0.81	m <sup>3</sup>
路面復旧工		別途計上		

# 土工単位数計算書 (1m当り)

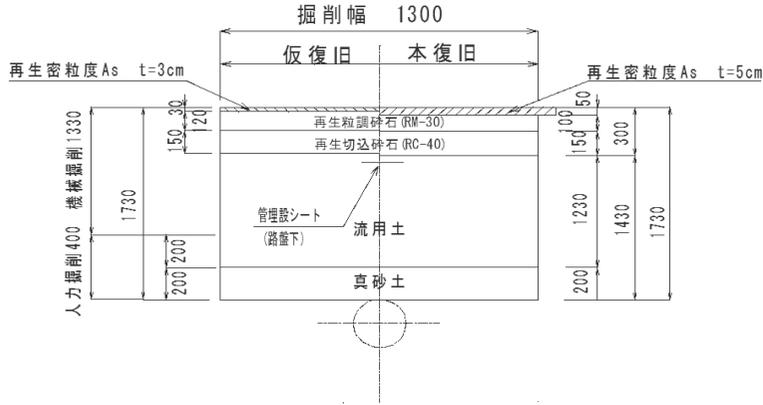
車-A1-100-1.85



工種	細別	1 m 当り		単位
		算式	数量	
舗装切断	As t=5cm	土工集計表にて別途計上		- m
舗装版取壊	As t=5cm	$1.30 \times 1.000$	1.30	m <sup>2</sup>
機械掘削	レキ質土	$(1.3 \times 1.0 \times 1.10) - (1.3 \times 1.0 \times 0.05)$	1.37	m <sup>3</sup>
人力掘削	レキ質土	$(1.3 \times 1.0 \times 1.07) - (\pi \times 0.12 \times 0.12 / 4) \times 1$	1.38	m <sup>3</sup>
真砂詰	管天20cm 真砂土入替	$(1.3 \times 1.0 \times 0.32) - ((\pi \times 0.12 \times 0.12 / 4) \times 1.0) + (1.3 \times 1.0 \times 0.2)$	0.66	m <sup>3</sup>
埋戻	流用土	$1.30 \times 1.000 \times 1.35$	1.76	m <sup>3</sup>
路盤	再生切込砕石RC-40 t=15cm	$1.30 \times 1.000$	1.30	m <sup>2</sup>
〃	再生粒調砕石RM-30 t=12cm	$1.30 \times 1.000$	1.30	m <sup>2</sup>
仮復旧	再生密粒 As t=3cm	$1.30 \times 1.000$	1.30	m <sup>2</sup>
残土処分	Asガラ	$1.30 \times 1.000 \times 0.05$	0.07	m <sup>3</sup>
〃	土砂	$(1.37 + 1.38) - (1.76 / 0.9)$	0.79	m <sup>3</sup>
路面復旧工		別途計上		

# 土工単位数数量計算書 (1m当り)

## 車-A1-100-1.73 (試掘)



工種	細別	1 m 当り		単位
		算式	数量	
舗装切断	As t=5cm	土工集計表にて別途計上		- m
舗装版取壊	As t=5cm	1.30 × 1.00	1.30	m <sup>2</sup>
機械掘削	レキ質土	(1.3×1.0×1.33) - (1.3×1.0×0.05)	1.66	m <sup>3</sup>
人力掘削	レキ質土	(1.3×1.0×0.4)	0.52	m <sup>3</sup>
真砂詰	管天20cm 真砂土入替	(1.3×1.0×0.2)	0.26	m <sup>3</sup>
埋戻	流用土	1.30 × 1.00 × 1.23	1.60	m <sup>3</sup>
路盤	再生切込碎石RC-40 t=15cm	1.30 × 1.00	1.30	m <sup>2</sup>
〃	再生粒調碎石RM-30 t=12cm	1.30 × 1.00	1.30	m <sup>2</sup>
仮復旧	再生密粒 As t=3cm	1.30 × 1.00	1.30	m <sup>2</sup>
残土処分	Asガラ	1.30 × 1.00 × 0.05	0.07	m <sup>3</sup>
〃	土砂	(1.66+0.52) - (1.60/0.9)	0.40	m <sup>3</sup>
路面復旧工		別途計上		



耐震継手補強工

名 称	図面番号 形 状	2	3	5	単 位	計 数 量	備 考
		本数	本数	本数			
耐震補強金具取付工	3DKN以上 φ300 A形	22	15		箇所	37	材料支給 84kg/個
耐震補強金具取付工	3DKN以上 φ300 A形		26	13	箇所	39	(材工共)
耐震補強金具取付工	3DKN以上 φ100 A形			1	箇所	1	材料支給 19.7kg/個
耐震補強金具取付工	3DKN以上 φ100 A形			1	箇所	1	(材工共)
フランジ耐震補強金具取付工	3DKN以上 φ300			2	箇所	2	(材工共)
フランジ耐震補強金具取付工	3DKN以上 φ75		1		箇所	1	材料支給
フランジ耐震補強金具取付工	3DKN以上 φ75		1		箇所	1	(材工共)
補修弁用フランジ耐震補強金具	3DKN以上 φ75 1次側2次側 一体型		1		箇所	1	材料支給
仕切弁BOX撤去工	H=1.05 口径φ75		1		基	1	
仕切弁BOX設置工	H=1.05 新設 口径φ75		1		基	1	(材工共)
仕切弁BOX処分	CO製 H=1.05	0.1m <sup>3</sup> /m × 1.05m=0.1			m <sup>3</sup>	0.1	
仕切弁BOX設置工	H=1.70 新設 口径φ100			1	基	1	(材工共) 不断水仕切弁箇所
仕切弁BOX撤去工	H=0.80 口径φ300			1	基	1	
仕切弁BOX設置工	H=0.80 口径φ300			1	基	1	
仕切弁BOX処分	CO製 H=0.80	0.1m <sup>3</sup> /m × 0.80m=0.1			m <sup>3</sup>	0.1	
仕切弁BOX設置工	H=0.95 新設 口径φ300			1	基	1	(材工共) 不断水仕切弁箇所
消火栓設置工	地下式 単口 7.5k 新設		1		基	1	
消火栓BOX撤去工	H=0.65 口径φ300		1		基	1	
消火栓BOX設置工	H=0.65 新設 口径φ300		1		基	1	(材工共)
消火栓BOX処分	CO製 H=0.65	0.1m <sup>3</sup> /m × 0.65m=0.1			m <sup>3</sup>	0.1	
不断水仕切弁(耐震型)設置工	φ100 DIP用			1	基	1	(材工共)
不断水仕切弁(耐震型)設置工	φ300 DIP用			1	基	1	材料支給
ポリスリーブ被覆工	φ300	76(継手)+1(消火栓)+2(仕切弁)=79m			m	79	
ポリスリーブ被覆工	φ100	2(継手)+1(仕切弁)=3m			m	3	
ポリスリーブ被覆工	φ75	1(仕切弁)=1m			m	1	
管理設シート	幅15cm 50m巻き	(土工延長より116m)			m	116	
支給品運搬	高屋ポンプ所～現場 11.6km				回	1	510kg/個
	志和配水池～現場 5.9km				回	1	(37個×84Kg/個)+(1個×19.7kg/個)= 3127.7kg